

注3

大学番号：私547

[平成22年度設置]

計画の区分：学部の学科の設置

注1

届出

九州産業大学 工学部 住居・インテリア設計学科

注2

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人 中村産業学園

平成25年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 総務部総務課

職名・氏名 総務部長 シバタ 柴田 ヨシオ 善夫

電話番号 092-673-5510

（夜間） 092-673-5510

F A X 092-673-5599

e-mail somu@ip.kyusan-u.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部

(□□学部)

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」

・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」

・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」

・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」

・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科（通信教育課程）」

※「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。

3 大学番号の欄については、平成25年3月15日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書の提出について（依頼）」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目 次

1	調査対象大学等の概要等	1
2	授業科目の概要	5
3	施設・設備の整備状況、経費	13
4	既設大学等の状況	15
5	教員組織の状況	18
6	留意事項に対する履行状況等	29
7	その他全般的事項	32

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人 中村産業学園

(2) 大学名

九州産業大学

(3) 大学の位置

〒813-8503

福岡県福岡市東区松香台二丁目3番1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	届出時	変更状況	備考
理事長	ヤマシロヒロ 山下寛彦 平成17年6月	イノセキヒサ 一ノ瀬秋久 平成23年3月	一身上の都合のため 平成23年3月18日 (23)
		サトウミツアキ 佐藤光昭 平成21年6月	任期満了のため 平成21年6月16日 (22)
学長	サゴタカシ 佐護譽 平成16年12月	ヤマモトイオ 山本盤男 平成22年12月	任期満了のため 平成22年12月23日 (23)
学部長	カミワタシゲル 上和田茂 平成14年4月	ホリカトサ 細川土佐男 平成24年4月	任期満了のため 平成24年4月1日 (24)
		フジモトタカシ 藤本孝 平成22年4月	任期満了のため 平成22年4月1日 (22)
学科長等	キヤマヒロキ 北山広樹 平成22年4月	コイズミタカシ 小泉隆 平成24年4月	任期満了のため 平成24年4月1日 (24)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成23年度に報告済の内容 → (23)

平成25年度に報告する内容 → (25)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部・学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。
 ・ 様式は, 平成22年度開設の4年制の学科の場合(平成25年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称(学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
工学部 住居・インテリア 設計学科 学士(工学)	4年	60人	年次 人	240人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	60人 (-) [-]	-人	60人 (-) [-]	-人	60人 (-) [-]	-人	60人 (-) [-]	-人	1.07倍	
志願者数	151 (-) [6]	- (-) [-]	155 (-) [-]	- (-) [-]	148 (-) [-]	- (-) [-]	229 (-) [1]	- (-) [-]		
受験者数	148 (-) [6]	- (-) [-]	155 (-) [-]	- (-) [-]	138 (-) [-]	- (-) [-]	229 (-) [1]	- (-) [-]		
合格者数	127 (-) [2]	- (-) [-]	131 (-) [-]	- (-) [-]	119 (-) [-]	- (-) [-]	144 (-) [-]	- (-) [-]		
B 入学者数	63 (-) [1]	- (-) [-]	69 (-) [-]	- (-) [-]	55 (-) [-]	- (-) [-]	72 (-) [-]	- (-) [-]		
入学定員超過率 B/A	1.05		1.15		0.91		1.20			

- (注) ・ 数字は, 平成25年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[1] 62	[-] -	[-] 69	[-] -	[-] 55	[-] -	[-] 71	[-] -	
2年次	/		[1] 59	[-] -	[-] 67	[-] -	[-] 53	[-] -	
3年次			/		/		[1] 54	[-] -	[-] 64
4年次	/						/		[1] 51
計			[1] 62	[1] 128	[1] 176	[1] 239			

- (注) ・ 数字は、平成25年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成22年度 入学者	63 人	12 人	平成22年度	3 人	0 人	・他の教育機関への入学・転学(1人) ・学生個人の心身に関する事情(1人) ・その他(転学科)(1人)	0.2 %
			平成23年度	4 人	0 人	・他の教育機関への入学・転学(3人) ・除籍(1人)	
			平成24年度	3 人	0 人	・他の教育機関への入学・転学(1人) ・就職(1人) ・除籍(1人)	
			平成25年度	2 人	0 人	・他の教育機関への入学・転学(1人) ・学力不足(1人)	
平成23年度 入学者	69 人	5 人	平成23年度	2 人	0 人	・その他(1人) ・除籍(1人)	0.1 %
			平成24年度	3 人	0 人	・他の教育機関への入学・転学(1人) ・除籍(2人)	
			平成25年度	0 人	0 人		
平成24年度 入学者	55 人	2 人	平成24年度	1 人	0 人	・除籍(1人)	0.0 %
			平成25年度	1 人	0 人	・家庭の事情(1人)	
平成25年度 入学者	72 人	1 人	平成25年度	1 人	0 人	・他の教育機関への入学・転学(1人)	0.0 %
合 計	259 人	20 人					0.1 %

(注)・数字は、平成25年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成25年度5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<工学部 住居・インテリア設計学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
基礎科目系	プロゼミナール	1後 1前	2			4	3 2	1 1 -4				専任教員の昇任に伴う配置人数の変更及び開講期別変更(22) 専任教員の昇任に伴う配置人数の変更(25)	
	基礎数学	1前	2					1			兼 4		
	基礎物理	1前	2								兼 4		
	情報処理入門	1後	2					1			兼 1		
	建築施工	3前	2								兼 1		
	保存修景計画	3後	2								兼 1		
	建築法規	3後	2								兼 1		
	環境化学入門	1後 1前		2							兼 2	時間割編成における開講期別の変更(22)	
	地球環境学	1後 1前		2							兼 1	時間割編成において開講期別を変更(24)	
	生態学	1後 1前 1後		2							兼 1	届出時の期別に変更(24) 時間割編成における開講期別の変更(23)	
	技術者倫理	3前		2							兼 2		
	専門科目系	住居概論	1前	2			1						
		住居・インテリア史	1前	2				1	1				専任教員の昇任に伴う配置人数の変更(22)
		住宅構法計画	1前	2				1	1				専任教員の昇任に伴う配置人数の変更(25)
		インテリア概論	1後	2			1						
		住宅計画	1後	2			1						
		住居環境	1後	2			1						
		設計製図実習	1後	2			1					兼 2	
		福祉住環境設計論	2前	2			1						
		住居と構造	2前	2				1	1				専任教員の昇任に伴う配置人数の変更(23)
住居・インテリア設計基礎実習		2前	2			1					兼 2		
CAD実習		2前	2				1	1				専任教員の昇任に伴う配置人数の変更(23)	
建築材料		2後	2				1	1				専任教員の昇任に伴う配置人数の変更(25)	
力学入門		2後	2				1	1				専任教員の昇任に伴う配置人数の変更(25)	
住宅設計実習		2後	2			1					兼 2		
ワークショップ		2後	2			1	2	2				専任教員の昇任に伴う配置人数の変更(23)	
住居・インテリア特論		3後 3前	2			4	3 2	1 3				専任教員の昇任に伴う配置人数の変更(24)(25) 時間割編成において開講期別の変更(25)	
オフィス・ショップ設計論		3前	2			1							
建築力学 I		3前	2				1	1				専任教員の昇任に伴う配置人数の変更(25)	
インテリア設計実習		3前	2			1					兼 2		
卒業設計		4通	6			4	3	3				専任教員の昇任に伴う配置人数の変更(25)	
西洋建築史	1後		2							兼 1			
住居学実習	2集中		2		1	1	1				専任教員の昇任に伴う配置人数の変更(23)		
日本建築史	2前		2							兼 1			
空気環境計画	2前		2							兼 1			

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門科目	専門科目系	CG実習	2後	2			1	4				専任教員の昇任に伴う配置人数の変更(23)	
		施設計画	2後	2		1							
		建築音響計画	2後	2							兼 1		
		防災工学	2後	2							兼 1		
		建築デザイン	2後	2		1							
		建築設備計画	2後	2		1							
		木造建築論	3前	2							兼 1		
		インターンシップ	3集中	2			4	3+	+				専任教員の昇任に伴う配置人数の変更及び教育課程の充実を図るため、教員を追加(24)(25) 担当 白川敏夫(講師)北山広樹(教授)飯田一博(教授)上和田茂(教授)小泉隆(教授)花井伸明(准教授)
		都市計画	3前	2							兼 1		
		都市デザイン	3前	2				1	4			専任教員の昇任に伴う配置人数の変更(24)	
		エレメント設計論	3前 3後	2		1						時間割編成において開講期別の変更(25)	
		オフィス・ショップ設計実習	3後	2		1					兼 1		
		鉄筋コンクリート構造	3後	2				1	4			専任教員の昇任に伴う配置人数の変更(24)	
		建築力学Ⅱ	3後	2							兼 1		
		ファシリティ・マネジメント	4前	2							兼 1		
		住宅実施設計	4前	2		1							
		デザインコンペ	4前	2		1							
		鉄骨構造	4前	2							兼 1		
基礎教育科目	教養科目	導入科目 基礎ゼミナール	1前	2		4	3 2	1 2 4				専任教員の昇任に伴う配置人数の変更(22)(25)	
		哲学の世界	1・2後 1→2前	2							兼 1	時間割編成において開講期別を変更(24)	
		倫理学 倫理の世界	未開講 1→2後	2								科目名称を変更(24) 時間割編成において教養科目の開講科目を調整(22)(23)(24)(25)	
		日本の歴史	1・2後 1→2前 1→2後 1→2前	2							兼 1	時間割編成において開講期別の変更(25) 届出時の期別に変更(23) 時間割編成における開講期別の変更(22)	
		アジアの歴史	1・2前	2							兼 1		
		ヨーロッパの歴史	1・2前 1→2後	2							兼 1	時間割編成における開講期別の変更(22)	
		日本の文学	1・2前	2							兼 1		
		アジアの文学	1・2前 1→2後	2							兼 1	時間割編成において開講期別を変更(24)	
		欧米の文学	1・2後 1→2前	2							兼 1	時間割編成において開講期別を変更(24)	
		心理学概説 心理学の世界	1・2後 1→2前	2							兼 1	時間割編成において開講期別の変更(25) 科目名称を変更(24)	
		文化人類学	1・2後 1→2前 1→2後	2							兼 1	届出時の期別に変更(25) 時間割編成における開講期別の変更(23)	
		日本の地理と風土	未開講 1→2後 1→2前 1→2後	2								時間割編成において教養科目の開講科目を調整(25) 届出時の期別に変更(23) 時間割編成における開講期別の変更(22)	
		世界の地理と風土	1・2後 未開講 1→2後 1→2前	2							兼 1	時間割編成において教養科目の開講科目を調整(24) 時間割編成において開講期別の変更(22)(25)	
		現代の経済	1・2後 1→2前 1→2後	2							兼 1	届出時の期別に変更(25) 時間割編成における開講期別の変更(22)	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基礎教育科目 教養科目	現代の経営	1・2前 1→2後 1→2前 1→2後		2							兼 1	届出時の期別に変更(23) 時間割編成における開講期別の変更(22) (25)
	現代の政治	1・2前 1→2後		2							兼 1	時間割編成において開講期別の変更(25)
	現代の社会	1・2後 未開講 1→2前		2							兼 1	通常開講及び時間割編成において開講期別を変更(24) 時間割編成において教養科目の開講科目を調整(23)
	現代の国際社会	1・2後 1→2前 1→2後 1→2前		2							兼 1	時間割編成において開講期別を変更(24) 届出時の期別に変更(23) 時間割編成における開講期別の変更(22)
	法学	1・2前 1→2後		2							兼 1	時間割編成における開講期別の変更(23)
	日本国憲法	1・2後 1→2前		2							兼 1	時間割編成における開講期別の変更(23)
	ジェンダーと社会	1・2後		2							兼 1	
	科学・技術史	1・2前 1→2後 1→2前 1→2後 1→2前		2							兼 1	時間割編成において開講期別を変更(24) 届出時の期別に変更(23) (25) 時間割編成における開講期別の変更(22)
	生物の世界	1・2前 1→2後		2							兼 1	時間割編成における開講期別の変更(25)
	動物行動学	1・2後 1→2前 1→2後		2							兼 1	届出時の期別に変更(23) 時間割編成における開講期別の変更(22)
	化学の世界	1・2後 未開講 1→2後		2							兼 1	通常開講(24) 時間割編成において教養科目の開講科目を調整(22) (23)
	物理の世界	1・2後		2							兼 1	
	地球環境	1・2前 1→2後		2							兼 1	時間割編成における開講期別の変更(23)
	数学の世界	1・2前 1→2後		2				1				時間割編成における開講期別の変更(22)
	医学の世界	1・2前 未開講 1→2後		2							兼 1	通常開講及び時間割編成において開講期別を変更(24) 時間割編成において教養科目の開講科目を調整(22) (23)
	アートスクール【絵画基礎】	1・2前		2							兼 1	
	アートスクール【デザイン基礎】	1・2前		2							兼 4	
	アートスクール【写真映像基礎】	1・2前 未開講 1→2前		2							兼 1	通常開講(24) 担当者退職のため(23)
	世界の美術館Ⅰ	未開講 1→2前		2								時間割編成において教養科目の開講科目を調整(22) (23) (24) (25)
	世界の美術館Ⅱ	未開講 1→2後		2								時間割編成において教養科目の開講科目を調整(22) (23) (24) (25)
	美学・美術史	1・2前 1→2後		2							兼 1	時間割編成における開講期別の変更(23)
	音楽概論Ⅰ	未開講 1→2前		2								時間割編成において教養科目の開講科目を調整(22) (23) (24) (25)
	音楽概論Ⅱ	未開講 1→2後		2								時間割編成において教養科目の開講科目を調整(22) (23) (24) (25)
	人権・同和問題	1・2後 1→2前		2							兼 1	時間割編成における開講期別の変更(22)
	生涯学習	1・2後 1→2前 1→2後 1→2前 1→2後		2							兼 1	時間割編成において開講期別を変更(24) 届出時の期別に変更(23) (25) 時間割編成における開講期別の変更(22)
	総合講座Ⅰ	未開講 1→2前		2								時間割編成において教養科目の開講科目を調整(22) (23) (24) (25)
	総合講座Ⅱ	1・2前 1→2後		2							兼 1	時間割編成における開講期別の変更(22)
	総合講座Ⅲ	1・2前		2							兼 1	
総合講座Ⅳ	1・2後		2							兼 1		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
教養科目	総合講座Ⅴ	未開講 1→2前		2								教養科目の充実を図るため科目を追加及び時間割編成において教養科目の開講科目を調整(24)(25)
	総合講座Ⅵ	未開講 1→2後		2								教養科目の充実を図るため科目を追加及び時間割編成において教養科目の開講科目を調整(24)(25)
	総合講座Ⅶ	未開講 1→2前		2								教養科目の充実を図るため科目を追加及び時間割編成において教養科目の開講科目を調整(24)(25)
	総合講座Ⅷ	未開講 1→2後		2								教養科目の充実を図るため科目を追加及び時間割編成において教養科目の開講科目を調整(24)(25)
	教養講座	1・2前後 1→2前		2							兼 11	教養科目の充実を図るため開講期別を追加(25)
	教養ゼミナール	1・2前後 1→3前		2							兼 12	教養科目の充実を図るため開講期別を追加(25)
	学部連携基礎演習Ⅰ	未開講 1→2前		2								学部連携科目の充実を図るため科目を追加及び時間割編成において教養科目の開講科目を調整(24)(25)
	学部連携基礎演習Ⅱ	未開講 1→2後		2								学部連携科目の充実を図るため科目を追加及び時間割編成において教養科目の開講科目を調整(24)(25)
	スタディ・スキル【国語力】	1・2後		2							兼 1	教養科目の充実を図るため科目を追加し、兼任教員が担当する(24)
	スタディ・スキル【文章力】	1・2前		2							兼 1	教養科目の充実を図るため科目を追加し、兼任教員が担当する(24)
	実用国語	1・2前		2							兼 1	教養科目の充実を図るため科目を追加し、兼任教員が担当する(25)
	ライティング・スキル入門	1・2後		2							兼 1	教養科目の充実を図るため科目を追加し、兼任教員が担当する(25)
	基礎教育科目	キャリア形成基礎論	1前		2							兼 1
キャリア開発論		2前		2							兼 1	
実践キャリア学修A		未開講 1→2→3集中		2		1						時間割編成においてキャリア科目の開講科目を調整(22)(23)(24)(25)
実践キャリア学修B		1・2・3集中 未開講 1→2→3集中		2			+	+			兼 1	通常開講及び担当者を変更(24)(25) 時間割編成においてキャリア科目の開講科目を調整(22)(23) 専任教員の昇任に伴う配置人数の変更(22)
実践キャリア学修C		未開講 1→2→3集中		2								時間割編成においてキャリア科目の開講科目を調整(22)(23)(24)(25)
実践キャリア演習A		未開講 1→2→3前		2		1						時間割編成においてキャリア科目の開講科目を調整(22)(23)(24)(25)
実践キャリア演習B		未開講 1→2→3後		2		1						時間割編成においてキャリア科目の開講科目を調整(22)(23)(24)(25)
実践キャリア演習C		1・2・3後 未開講 1→2→3前		2		+					兼 1	時間割編成において開講期別及び担当者の変更(25) 時間割編成においてキャリア科目の開講科目を調整(22)(23)(24)
実践キャリア演習D		1・2・3後 未開講 1→2→3後		2		+					兼 1	通常開講及び担当者を変更(24)(25) 時間割編成においてキャリア科目の開講科目を調整(22)(23)
ゼミナール・サポーター		未開講 3→4前		2		1						時間割編成においてキャリア科目の開講科目を調整(24)(25)
キャリア形成基礎論		3後		2							兼 1	キャリア教育の充実を図るため科目を追加し、兼担教授が担当する(23)
学生サポーター		1・2・3集中		2							兼 1	キャリア科目の充実を図るため科目を追加し、兼担准教授が担当する(24)
学生ボランティア入門		1・2・3後		2							兼 2	キャリア科目の充実を図るため科目を追加し、兼担教授が担当する(24)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基礎教育科目	心と身体の健康科目	心の健康		2							兼 2	時間割編成における開講期別の変更(23)
		健康学		2							兼 1	時間割編成における開講期別の変更(22)
		スポーツ科学演習A		2							兼 4	心と身体の健康科目の充実を図るため開講期別を追加(25)
		スポーツ科学演習B		2								時間割編成において心と身体の健康科目の開講科目を調整(22)(23)(24)(25)
外国語科目	英語 I		1前	1							兼 23	
	英語 II		1後	1							兼 23	
	英語会話 I		1前	1							兼 23	
	英語会話 II		1後	1							兼 23	
	ドイツ語 I		1前	1							兼 1	
	ドイツ語 II		1後	1							兼 1	
	フランス語 I		1前	1							兼 1	
	フランス語 II		1後	1							兼 1	
	韓国語 I		1前	1							兼 1	
	韓国語 II		1後	1							兼 1	
	中国語 I		1前	1							兼 1	
	中国語 II		1後	1							兼 1	
	英語 III		2前	1							兼 21	
	英語 IV		2後	1							兼 21	
	英語会話 III		2前	1							兼 21	
	英語会話 IV		2後	1							兼 21	
	ドイツ語 III		2前	1							兼 1	
	ドイツ語 IV		2後	1							兼 1	
	英語 V		3前	1							兼 1	
	英語 VI		3後	1							兼 1	
	英語会話 V		3前	1							兼 1	
	英語会話 VI		3後	1							兼 1	
	英語 VII		4前	1							兼 1	
	英語 VIII		4後	1							兼 1	
	英語会話 VII		4前	1							兼 1	
	英語会話 VIII		4後	1							兼 1	
	英語表現法		4前	2							兼 1	
	Four Skills I		1前	2							兼 4	実践的英語教育のため科目を追加(22) 担当 Luke Fryer(講師) Charles Anderson(講師)
	Four Skills II		1後	2							兼 3	実践的英語教育のため科目を追加(22) 担当 Luke Fryer(講師) Charles Anderson(講師)
	Advanced Reading & Writing I		2前	2							兼 3	実践的英語教育のため科目を追加(22)
	Advanced Reading & Writing II		2後	2							兼 2	実践的英語教育のため科目を追加(22)
	Introduction to Online English		2前	1							兼 1	実践的英語教育のため科目を追加(22)
Professional Writing Skills		2前 2後	1							兼 1	時間割編成において開講期別及び担当の変更(25) 実践的英語教育のため科目を追加(22)	
Introduction to Translation		2後	1							兼 1	実践的英語教育のため科目を追加(22)	
Writing for Specific Purposes		2後 2前 2後	1							兼 1	時間割編成において開講期別の変更(23)(25) 実践的英語教育のため科目を追加(22)	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
外国語科目	Domestic Job Training	2通		6							兼 1	実践的英語教育のため科目を追加(22)
	Overseas Job Training	3通		8							兼 1	実践的英語教育のため科目を追加(22)
留学生に関する科目	日本語初級A	1前		1							兼 1	
	日本語初級B	1後		1							兼 1	
	日本語初級C	1前		1							兼 1	
	日本語初級D	1後		1							兼 1	
	日本語中級A	2前		1							兼 1	
	日本語中級B	2後		1							兼 1	
	日本語中級C	2前		1							兼 1	
	日本語中級D	2後		1							兼 1	
	日本の歴史A	1前		2							兼 1	
	日本の歴史B	1後		2							兼 1	
	日本の文化A	1前		2							兼 1	
	日本の文化B	1後		2							兼 1	
	日本の政治経済A	1前		2							兼 1	
	日本の政治経済B	1後		2							兼 1	
	一般日本事情A	1前		2							兼 1	
	一般日本事情B	1後		2							兼 1	

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成24年度に認可された大学等は設置認可時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
- なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
- ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
- ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
27	127	0	154	27	151	0	178	
				[]	[24]	[]	[24]	

- (注) ・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[]内に、届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	倫理学	2	1・2後	一般	選択	時間割編成における教養科目の開講科目調整、代替措置無。(25)
2	日本の地理と風土	2	1・2前	一般	選択	時間割編成における教養科目の開講科目調整、代替措置無。(25)
3	世界の美術館Ⅰ	2	1・2前	一般	選択	時間割編成における教養科目の開講科目調整、代替措置無。(25)
4	世界の美術館Ⅱ	2	1・2後	一般	選択	時間割編成における教養科目の開講科目調整、代替措置無。(25)
5	音楽概論Ⅰ	2	1・2前	一般	選択	時間割編成における教養科目の開講科目調整、代替措置無。(25)
6	音楽概論Ⅱ	2	1・2後	一般	選択	時間割編成における教養科目の開講科目調整、代替措置無。(25)
7	総合講座Ⅰ	2	1・2前	一般	選択	時間割編成における教養科目の開講科目調整、代替措置無。(25)
8	実践キャリア学修A	2	1・2・3集中	一般	選択	時間割編成におけるキャリア科目の開講科目調整、代替措置無。(25)
9	実践キャリア学修C	2	1・2・3集中	一般	選択	時間割編成におけるキャリア科目の開講科目調整、代替措置無。(25)
10	実践キャリア演習A	2	1・2・3前	一般	選択	時間割編成におけるキャリア科目の開講科目調整、代替措置無。(25)
11	実践キャリア演習B	2	1・2・3後	一般	選択	時間割編成におけるキャリア科目の開講科目調整、代替措置無。(25)
12	ゼミナール・サポーター	2	3・4前	一般	選択	時間割編成におけるキャリア科目の開講科目調整、代替措置無。(25)
13	スポーツ科学演習B	2	1・2後	一般	選択	時間割編成における心と身体の健康科目の開講科目調整、代替措置無。(25)

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

「大学の所見」

全学部共通に開設している基礎教育科目は授業時間割編成において、全学的な見地から開講科目等を調整の上開講したため、上記(3)の科目はやむなく未開講となったが、次年度以降はできる限り「教養科目」「キャリア科目」「心と身体健康科目」の開講調整の上、実施する計画である。

「学生への周知方法」

混乱を避けるため、授業時間割表に掲載していない。

(注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

未開講科目と廃止科目の計	13	=	0.08
設置時の計画の授業科目数の計	154		

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	一部校舎敷地と別地 宗像運動場用地 169,907.00㎡ 所要時間：約40分 距離：約22.14Km 水谷運動場用地 15,352.53㎡ 所要時間：約10分 距離：約2.5Km 土地購入のため (22) 土地売却のため (22) 土地購入のため (23)			
	校舎敷地	140,930.46㎡ 137,149.46㎡	0㎡	8,908.00㎡	149,838.46㎡ 146,057.46㎡				
	運動場用地	185,259.53㎡	82,349.65㎡ 81,013.98㎡ 79,945.65㎡	1,616.00㎡	269,225.18㎡ 267,889.51㎡ 266,821.18㎡				
	小 計	326,189.99㎡ 322,408.99㎡	82,349.65㎡ 81,013.98㎡ 79,945.65㎡	10,524.00㎡	419,063.64㎡ 413,946.97㎡ 412,878.64㎡				
	そ の 他	20,006.02㎡ 20,661.02㎡	0㎡	0㎡	20,006.02㎡ 20,661.02㎡				
	合 計	346,196.01㎡ 342,415.01㎡ 343,070.01㎡	82,349.65㎡ 81,013.98㎡ 79,945.65㎡	10,524.00㎡	439,069.66㎡ 433,952.99㎡ 433,539.66㎡				
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	新棟建設のため (23) (25)			
		165,928.65㎡ 165,720.97㎡ 165,415.95㎡ (165,415.95㎡)	0㎡ (0㎡)	11,966.82㎡ (11,966.82㎡)	177,895.47㎡ 177,687.79㎡ 177,382.77㎡ (177,382.77㎡)				
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	使用用途変更のため (22) (23) (24) (25) 人事異動のため (22) (23)			
	169室 173室 172室 179室	208室 210室 222室 213室	507室 508室 505室 498室 497室	24室 22室 9人 (補助職員 10人)	15室 9室 4人 3人 4人 (補助職員 4人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数					
	工学部 住居・インテリア設計学科			8 室					
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	購入冊数が当初より増加 したため (22) (23) (24) (25) 機械・器具を充実したた め (22) (23) (24) (25)	
	工学部 住居インテリア 学科	3,206 [383] (3,281 [390]) (3,055 [389]) (2,811 [388]) (2,568 [384]) (2,350 [383])	33 [7] (33 [7])	2 [2] (2 [2])	21 (21)	1,477 (1,727) (1,694) (1,669) (1,620) (1,422)	4 (4)		
	計	3,206 [383] (3,281 [390]) (3,055 [389]) (2,811 [388]) (2,568 [384]) (2,350 [383])	33 [7] (33 [7])	2 [2] (2 [2])	21 (21)	1,477 (1,727) (1,694) (1,669) (1,620) (1,422)	4 (4)		
(6) 図 書 館	面 積	閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数					
	8,828㎡	982		665,000					
(7) 体 育 館	面 積	体育館以外のスポーツ施設の概要							
	6,689.58㎡	武 道 館		弓 道 場		野 球 場		陸 上 競 技 場	
		球 技 場		テ ニ ス コ ー ト		ハ ン ド ボ ー ル コ ー ト		ゴ ル フ 練 習 場	
		ア ー チェリー ー 場		屋 内 プ ー ル					
(8) 経 費 の 見 積 り 及 び 維 持 方 法 の 概 要	区 分	開設前年度	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	当初は予算額を記入して いたが執行額に変更した ため(23) (24) (25)
	教員1人当たり研究費等		460千円	460千円	460千円	460千円	— 千円	— 千円	
	共同研究費等		2,610千円 2,588千円 50千円	8,147千円 8,236千円 90千円	8,870千円 140千円	180千円	— 千円	— 千円	
	図書購入費	919千円 910千円	829千円 820千円	751千円 740千円	670千円 660千円	660千円	— 千円	— 千円	
	設備購入費	5,020千円 5,100千円	14,753千円 15,920千円 1,300千円	5,312千円 5,460千円 2,600千円	4,975千円 3,900千円	5,100千円	— 千円	— 千円	
	学生1人当 り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
	1,354千円	1,124千円	1,124千円	1,124千円	— 千円	— 千円			
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常費補助金、資産運用収入等							

-
- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成25年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(25)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

4. 既設大学等の状況

大 学 の 名 称	九州産業大学								備考
既 設 学 部 等 の 名 称	修業 年限	入学 定員	編入学 定 員	収容 定員	学位又 は称号	定員 超過率	開設 年度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍			
経済学部 経済学科 (昼間主コース)	4	400	—	1,600	学士(経済学)	1.08	平成5年度	福岡県福岡市 東区松香台二 丁目3番1号	
経済学部 経済学科 (夜間主コース)	4	50	—	200	学士(経済学)	1.08	平成5年度	同 上	
商学部第一部 商学科	4	400	—	1,600	学士(商学)	1.07	昭和35年度	同 上	
観光産業学科	4	150	3年次 15	630	学士(商学)	1.04	平成11年度	同 上	
商学部第二部 商学科	4	50	—	200	学士(商学)	0.59	昭和39年度	同 上	
経営学部 国際経営学科	4	200	—	800	学士(経営学)	1.08	昭和56年度	同 上	
産業経営学科	4	200	—	800	学士(経営学)	1.13	昭和43年度	同 上	
工学部 機械工学科	4	100	—	400	学士(工学)	1.05	昭和38年度	同 上	
電気情報工学科	4	100	—	400	学士(工学)	1.14	昭和38年度	同 上	※平成19年度より 学科名称変更 (旧電気工学科)
物質生命化学科	4	80	—	320	学士(工学)	1.29	昭和38年度	同 上	
都市基盤デザイン 工学科	4	60	—	240	学士(工学)	0.91	昭和39年度	同 上	※平成22年度より定 員数変更(80→60)
建築学科	4	70	—	280	学士(工学)	1.19	昭和39年度	同 上	※平成22年度より定 員数変更(100→70)
住居・インテリア設計学科	4	60	—	240	学士(工学)	1.06	平成22年度	同 上	
バイオテクノロジー学科	4	55	—	220	学士(工学)	0.80	平成16年度	同 上	※平成22年度より定 員数変更(65→55)
芸術学部 美術学科	4	80	—	320	学士(芸術)	0.56	昭和41年度	同 上	
芸術工芸学科	4	—	—	—	学士(芸術)	—	平成14年度	同 上	※平成20年度より 学生募集停止 (芸術工芸学科)
デザイン学科	4	180	—	720	学士(芸術)	0.86	昭和41年度	同 上	
写真映像学科	4	80	—	320	学士(芸術)	0.66	昭和41年度	同 上	※平成20年度より学 科名称変更 (旧写真学科)

既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
国際文化学部 国際文化学科	4	80	3年次 16	352	学士(国際文化)	1.16	平成6年度	福岡県福岡市 東区松香台二 丁目3番1号	
日本文化学科	4	60	3年次 12	264	学士(国際文化)	1.22	平成6年度	同上	※平成20年度より 学科名称変更 (旧地域文化学科)
臨床心理学科	4	60	3年次 12	264	学士(文学)	1.22	平成16年度	同上	
情報科学部 情報科学科	4	160	—	640	学士(情報科学)	0.92	平成21年度	同上	
社会情報システム学科	4	—	—	—	学士(情報科学)	—	平成14年度	同上	※平成21年度より 学生募集停止 (社会情報システム学科)
知能情報学科	4	—	—	—	学士(情報科学)	—	平成14年度	同上	※平成21年度より 学生募集停止 (知能情報学科)
大 学 の 名 称	九州産業大学 大学院								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
経済・ビジネス研究科 経済学専攻 (博士前期課程)	2	7	—	14	修士(経済学)	0.21	平成21年度	福岡県福岡市 東区松香台二 丁目3番1号	
現代ビジネス専攻 (博士前期課程)	2	20	—	40	修士(商学) 修士(経営学)	0.45	平成21年度	同上	
経済・ビジネス専攻 (博士後期課程)	3	5	—	15	博士(経済学) 博士(商学) 博士(経営学)	0.33	平成21年度	同上	
商学研究科 商学専攻 (博士後期課程)	3	—	—	—	博士(商学)	—	平成10年度	同上	※平成21年度より 学生募集停止 (商学研究科)
経営学研究科 経営専攻 (博士後期課程)	3	—	—	—	博士(経営学)	—	平成9年度	同上	※平成21年度より 学生募集停止 (経営学研究科)
工学研究科 産業技術デザイン専攻 (博士前期課程)	2	35	—	70	修士(工学)	0.49	平成23年度	同上	
産業技術デザイン専攻 (博士後期課程)	3	4	—	12	博士(工学)	0.08	平成23年度	同上	
生産システム工学専攻 (博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—	平成8年度	同上	※平成23年度より 学生募集停止 (生産システム工学専攻)
社会開発・環境システム 工学専攻 (博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—	平成8年度	同上	※平成23年度より 学生募集停止 (社会開発・環境 システム工学専攻)

既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	定員 超過率	開設 年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍			
芸術研究科 造形表現専攻 (博士前期課程)	2	14	—	28	修士(芸術)	1.53	平成24年度	福岡県福岡市 東区松香台二 丁目3番1号	
造形表現専攻 (博士後期課程)	3	6	—	18	博士(芸学)	0.55	平成11年度	同上	
国際文化研究科 国際文化専攻 (博士前期課程)	2	15	—	30	修士(文学)	0.76	平成10年度	同上	
国際文化専攻 (博士後期課程)	3	5	—	15	博士(文学)	0.40	平成10年度	同上	
情報科学研究科 情報科学専攻 (博士前期課程)	2	20	—	40	修士(情報科学)	0.20	平成16年度	同上	
情報科学専攻 (博士後期課程)	3	4	—	12	博士(情報科学)	0.00	平成16年度	同上	
大学の名称	九州造形短期大学								備考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	定員 超過率	開設 年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍			
造形芸術学科	2	200	—	400	短期大学士 (芸術)	0.50	平成19年度	福岡県福岡市 東区松香台二 丁目3番2号	

(注)・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部、学科)、大学院(専攻)及び短期大学(学科)について、それぞれの学校種ごとに、平成25年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。その際、AC対象学部学科等についても当該様式に記入してください。(ただし、専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。)

- ・「定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第2位まで(小数点第3位を切り捨て)を、学科(短期大学において専攻課程を設置している場合には、専攻課程)単位で記入してください。
- ・学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員と収容定員は「—」とし、「備考」に「平成〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<工学部 住居・インテリア設計学科>

(1) 担当教員表

履出時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	上和田 茂	平成22年4月	プロゼミナール 住宅計画 福祉住環境設計論 住宅設計実習 施設計画 住居・インテリア特論 卒業設計 住宅実地設計 ゼミナール・サポーター 基礎ゼミナール						
専	教授	北山 広樹	平成22年4月	プロゼミナール 住居環境 ワークショップ 建築設備計画 住居・インテリア特論 卒業設計 住居学実習 実践キャリア学修A 基礎ゼミナール						
専	教授	小泉 隆	平成22年4月	プロゼミナール 住居概論 設計製図実習 建築デザイン 住居・インテリア特論 エレメント設計論 卒業設計 デザインコンペ 実践キャリア学修A 実践キャリア学修B 基礎ゼミナール						
専	教授	飯田 一博	平成22年4月	プロゼミナール インテリア概論 住居・インテリア設計基礎実習 住居・インテリア特論 オフィス・ショップ設計論 インテリア設計実習 オフィス・ショップ設計実習 卒業設計 実践キャリア学修C 実践キャリア学修D 基礎ゼミナール	兼任	講師	鬼塚 淳子	平成25年3月	実践キャリア学修C	授業時間割編成において担当者を 変更(25)
					兼任	講師	鬼塚 淳子	平成24年4月	実践キャリア学修D	授業時間割編成において担当者を 変更(24)
専	講師	山本 卓宏	平成22年4月	プロゼミナール 基礎数学 情報処理入門 数学の世界 基礎ゼミナール						
専	講師	諫見 泰彦	平成22年4月	プロゼミナール 住居・インテリア史 CAD実習 ワークショップ CG実習 住居・インテリア特論 都市デザイン インターンシップ 卒業設計 実践キャリア学修B 基礎ゼミナール	専	准教授	諫見 泰彦			平成22年4月1日准教授昇任(22)
					兼任	准教授	中村 賢仁	平成24年4月	実践キャリア学修B	授業時間割編成において担当者を 変更(24)(25)
専	講師	花井 神明	平成22年4月	プロゼミナール 住居と構造 ワークショップ 住居・インテリア特論 鉄筋コンクリート構造 卒業設計 住居学実習 基礎ゼミナール	専	准教授	花井 神明			平成22年4月1日准教授昇任(22)
専	講師	白川 敏夫	平成22年4月	プロゼミナール 住宅構造計画 建築材料 力学入門 住居・インテリア特論 建築力学I 卒業設計 基礎ゼミナール	専	准教授	白川 敏夫			平成25年4月1日准教授昇任(25)
					専	講師	白川 敏夫	平成24年4月	インターンシップ	教育課程の充実を図るため、担当 者を追加(24)(25)
					専	准教授	白川 敏夫			平成25年4月1日准教授昇任(25)
					専	教授	上和田 茂	平成25年4月	インターンシップ	教育課程の充実を図るため、担当 者を追加(25)
					専	教授	北山 広樹	平成25年4月	インターンシップ	教育課程の充実を図るため、担当 者を追加(25)
					専	教授	小泉 隆	平成25年4月	インターンシップ	教育課程の充実を図るため、担当 者を追加(25)
					専	教授	飯田 一博	平成25年4月	インターンシップ	教育課程の充実を図るため、担当 者を追加(25)
					専	准教授	花井 神明	平成25年4月	インターンシップ	教育課程の充実を図るため、担当 者を追加(25)

(共通)

(1) 担当教員表

認可時の計画				変更状況				備考		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名		就任予定年月	担当授業科目名
兼任	教授	池田 和興	平成22年4月	基礎数学	兼任	講師	川口 良	平成24年4月	基礎数学	平成24年3月 池田和興教授退職のため担当者を変更 (24) (25)
兼任	教授	濱田 英隆	平成22年4月	基礎数学	兼任	教授	梅野 高司	平成22年4月	基礎数学	授業時間割編成において担当者の変更 (22) (23) (24) (25)
兼任	教授	大浦 博樹	平成22年4月	環境化学入門 化学の世界	兼任	教授	村石 治人	平成23年4月	環境化学入門	授業時間割編成において担当者の変更 (23) (24)
					兼任	助教	佐野 洋一	平成25年4月	環境化学入門※	授業時間割編成において担当者の変更 オムニバス形式で実施。(25)
					兼任	助教	神尾 克彦	平成25年4月	環境化学入門※	授業時間割編成において担当者の追加 オムニバス形式で実施。(25)
					兼任	講師	中島 道夫	平成24年4月	化学の世界	授業時間割編成において担当者を変更 (24) (25)
兼任	教授	林 正雄	平成22年4月	地球環境学	兼任	教授	河野 忠臣	平成23年4月	地球環境学	平成23年3月 林正雄教授退職のため担当者の変更 (23)
					兼任	講師	藤野 重之	平成24年4月	地球環境学	平成24年3月 河野忠臣教授退職のため担当者を変更 (24) (25)
兼任	教授	西田 勝	平成23年4月	空気環境計画 建築音響計画	兼任	講師	深川 健太	平成24年4月	空気環境計画 建築音響計画	平成24年3月 西田勝教授退職のため担当者を変更 (24) (25)
兼任	教授	榎橋 秀衛	平成23年4月	防災工学 技術者倫理 建築力学Ⅱ						
兼任	教授	九谷 和秀	平成25年4月	鉄骨構造						
兼任	教授	日高 圭一郎	平成22年4月	情報処理入門 都市計画 建築法規						
兼任	教授	呉 紅華	平成22年4月	アジアの文学	兼任	講師	藤 剛	平成22年4月	アジアの文学	授業時間割編成において担当者の変更 (22) (23)
					兼任	講師	岡村 真秀美	平成24年4月	アジアの文学	授業時間割編成において担当者を変更 (24) (25)
兼任	教授	佐藤 秀樹	平成22年4月	現代の経済	兼任	講師	原 みどり	平成22年4月	現代の経済	授業時間割編成において担当者の変更 (22)
					兼任	講師	大野 正久	平成23年4月	現代の経済	授業時間割編成において担当者の変更 (23) (24)
					兼任	講師	中村 大輔	平成25年4月	現代の経済	授業時間割編成において担当者の変更 (25)
兼任	教授	クリスティーナ・A. スピノ	平成22年4月	現代の国際社会	兼任	講師	川上 耕平	平成22年4月	現代の国際社会	授業時間割編成において担当者の変更 (22) (23) (24) (25)
兼任	教授	川口 俊郎	平成22年4月	科学・技術史 物理の世界	兼任	講師	三島 正章	平成22年4月	物理の世界	授業時間割編成において担当者の変更 (22) (23) (24)
					兼任	講師	中尾 安幸	平成25年4月	物理の世界	授業時間割編成において担当者の変更 (25)
					兼任	講師	藤野 重之	平成23年4月	科学・技術史	平成23年3月 川口俊郎教授退職のため担当者の変更 (23) (24)
兼任	教授	村石 治人	平成22年4月	地球環境	兼任	講師	金光 理	平成22年4月	地球環境	授業時間割編成において担当者の変更 (22)
					兼任	教授	河野 忠臣	平成23年4月	地球環境	授業時間割編成において担当者の変更 (23)
					兼任	講師	金光 理	平成24年4月	地球環境	授業時間割編成において担当者を変更 (24) (25)
兼任	教授	安藤 光一	平成22年4月	生物の世界	兼任	講師	市川 敏夫	平成22年4月	生物の世界	授業時間割編成において担当者の変更 (22) (23) (24) (25)
兼任	教授	村谷 博英	平成22年4月	医学の世界						
兼任	教授	宇田川 宣人	平成22年4月	アートスクール【絵画基礎】						
兼任	教授	飯高 由希雄	平成22年4月	アートスクール【デザイン基礎】※	兼任	准教授	坂本 浩	平成22年4月	アートスクール【デザイン基礎】※	授業時間割編成において担当者の変更 オムニバス形式で実施。 (22) (23) (24) (25)
兼任	教授	網本 義弘	平成22年4月	アートスクール【デザイン基礎】※	兼任	教授	黒岩 俊哉	平成23年4月	アートスクール【デザイン基礎】※	平成23年3月 網本義弘教授退職のため担当者の変更 オムニバス形式で実施。(23) (24) (25)
兼任	教授	車 政弘	平成22年4月	アートスクール【デザイン基礎】※	兼任	准教授	栗田 融	平成23年4月	アートスクール【デザイン基礎】※	平成23年3月 車政弘教授退職のため担当者の変更 オムニバス形式で実施。(23) (24)
兼任	教授	石川 寛夫	平成22年4月	アートスクール【写真映像基礎】			後任未定			平成23年3月 石川寛夫教授退職 (23)
					兼任	教授	丸尾 繁夫	平成24年4月	アートスクール【写真映像基礎】	平成23年3月 石川寛夫教授退職のため担当者の変更 (24) (25)
兼任	教授	中島 秀憲	平成22年4月	教養講座						
兼任	教授	北島 己佐吉	平成23年4月	キャリア開発論						
兼任	教授	倉知 延章	平成22年4月	心の健康 教養セミナー	兼任	教授	倉知 延章	平成22年4月	心の健康 ※	オムニバス形式で実施 (22)
					兼任	准教授	奥村 浩正	平成22年4月	心の健康 ※	オムニバス形式となったため、担当者 追加 (22) (23) (24)
					兼任	教授	奥村 浩正			平成23年4月1日教授昇任 (23) (24)
					兼任	教授	久保田 達也	平成23年4月	心の健康 ※	授業時間割編成において担当者の変更 オムニバス形式で実施 (23)
					兼任	講師	鬼塚 淳子	平成24年4月	心の健康 ※	授業時間割編成において担当者を オムニバス形式で実施 (24) (25)
					兼任	講師	安達 隆博	平成25年4月	心の健康 ※	授業時間割編成において担当者を オムニバス形式で実施 (25)

認可時の計画					変更状況					
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	就任予定年月	担当授業科目名	備考
兼任	教授	大賀 信孝	平成22年4月	英語Ⅰ 英語Ⅱ	兼任	教授	河野 賢司	平成22年4月	英語Ⅰ 英語Ⅱ	授業時間割編成において担当者の変更(22)
					兼任	講師	徳永 英紀	平成23年4月	英語Ⅰ 英語Ⅱ	授業時間割編成において担当者の変更(23)
					兼任	講師	土岸 真由美	平成24年4月	英語Ⅰ 英語Ⅱ	授業時間割編成において担当者を変更(24)
					兼任	講師	神澤 芳賢	平成25年4月	英語Ⅰ 英語Ⅱ	授業時間割編成において担当者を変更(25)
					兼任	教授	岡村 東洋光	平成22年4月	教養講座(英国学入門)	教育課程の充実を図るため、担当者を追加(22)(23)
					兼任	教授	平野 英一	平成22年4月	教養講座(九産大・学)	教育課程の充実を図るため、担当者を追加(22)
					兼任	教授	平野 英一	平成23年4月	教養講座(九産大・学)※	オムニバス形式で実施(23)
					兼任	教授	平野 英一	平成24年4月	教養講座(九産大・学)	単独で実施(24)
					兼任	教授	山本 久義	平成22年4月	教養講座(地域振興戦略論)	教育課程の充実を図るため、担当者を追加(22)
					兼任	教授	橋内 一郎	平成22年4月	教養ゼミナール(現代企業事情)	教育課程の充実を図るため、担当者を追加(22)(24)(25)
					兼任	教授	池内 秀己	平成22年4月	教養ゼミナール(DVDでオペラを楽しむ)	教育課程の充実を図るため、担当者を追加(22)(23)(24)(25)
					兼任	教授	木元 富夫	平成22年4月	教養ゼミナール(博多・福岡の近代化)	教育課程の充実を図るため、担当者を追加(22)(23)(24)
					兼任	教授	文 富	平成22年4月	教養ゼミナール(教養の根基)	教育課程の充実を図るため、担当者を追加(22)(23)(24)(25)
					兼任	教授	増井 武士	平成22年4月	教養ゼミナール(自己援助学入門～困ったときどうするか?～)	教育課程の充実を図るため、担当者を追加(22)
					兼任	教授	松永 勝也	平成22年4月	教養ゼミナール(安全科学)	教育課程の充実を図るため、担当者を追加(22)(23)
					兼任	教授	合志 和晃	平成22年4月	教養ゼミナール(ゲームプログラミング) 教養ゼミナール(プログラミング入門)	教育課程の充実を図るため、担当者を追加(22)(23)
					兼任	教授	Aduhan Bernady O.	平成22年4月	教養ゼミナール(英語でコンピュータ・リテラシー)	教育課程の充実を図るため、担当者を追加(22)(23)(24)(25)
					兼任	教授	原 巖	平成22年4月	スポーツ科学演習A	教育課程の充実を図るため、担当者を追加(22)(23)(25)
					兼任	教授	田中 義人	平成23年4月	教養講座(離散数学入門)	教育課程の充実を図るため、担当者を追加(23)
					兼任	教授	秋山 優	平成23年4月	教養講座(九産大・学)※	教育課程の充実を図るため、担当者を追加 オムニバス形式で実施(23)
					兼任	教授	下村 耕史	平成23年4月	教養講座(榊衛門様式学-“やきもの”の技法と歴史及び実-)※	教育課程の充実を図るため、担当者を追加 オムニバス形式で実施(23)(24)
					兼任	教授	梶原 茂正	平成23年4月	教養講座(榊衛門様式学-“やきもの”の技法と歴史及び実-)※	教育課程の充実を図るため、担当者を追加 オムニバス形式で実施(23)(24)(25)
					兼任	教授	釜塚 文孝	平成23年4月	教養講座(榊衛門様式学-“やきもの”の技法と歴史及び実-)※	教育課程の充実を図るため、担当者を追加 オムニバス形式で実施(23)(24)(25)
					兼任	教授	内山 敏典	平成23年4月	教養講座(榊衛門様式学-“やきもの”の技法と歴史及び実-)※	教育課程の充実を図るため、担当者を追加 オムニバス形式で実施(23)(24)(25)
					兼任	教授	山本 盛男	平成24年4月	教養講座(榊衛門様式学-“やきもの”の技法と歴史及び実-)※	教育課程の充実を図るため、担当者を追加 オムニバス形式で実施(24)(25)
					兼任	教授	宮野 俊明	平成23年4月	教養ゼミナール(行財政から地域を見る)	教育課程の充実を図るため、担当者を追加(23)
					兼任	教授	窪田 由紀	平成23年4月	教養ゼミナール(スポーツとカウンセリング)	教育課程の充実を図るため、担当者を追加(23)
					兼任	教授	大西 純一	平成23年4月	キャリア形成基礎論 キャリア形成戦略	平成23年4月から 教育課程の充実を図るため、 科目を追加(23)(24)(25)
					兼任	教授	黄 完昆	平成24年4月	教養講座(ふくおか事始め～福岡県経済と福岡都市圏の課題と展望)※	教育課程の充実を図るため、担当者を追加 オムニバス形式で実施(24)
					兼任	教授	加藤 要一	平成24年4月	教養講座(ふくおか事始め～福岡県経済と福岡都市圏の課題と展望)※	教育課程の充実を図るため、担当者を追加 オムニバス形式で実施(24)
					兼任	教授	芳賀 博文	平成24年4月	教養講座(ふくおか事始め～福岡県経済と福岡都市圏の課題と展望)※	教育課程の充実を図るため、担当者を追加 オムニバス形式で実施(24)
					兼任	教授	本間 聡	平成24年4月	教養講座(ふくおか事始め～福岡県経済と福岡都市圏の課題と展望)※	教育課程の充実を図るため、担当者を追加 オムニバス形式で実施(24)
					兼任	教授	益村 真知子	平成24年4月	教養講座(ふくおか事始め～福岡県経済と福岡都市圏の課題と展望)※	教育課程の充実を図るため、担当者を追加 オムニバス形式で実施(24)
					兼任	教授	宮野 俊明	平成24年4月	教養講座(ふくおか事始め～福岡県経済と福岡都市圏の課題と展望)※	教育課程の充実を図るため、担当者を追加 オムニバス形式で実施(24)
					兼任	教授	原 康記	平成24年4月	教養講座(ふくおか事始め～福岡県経済と福岡都市圏の課題と展望)※	教育課程の充実を図るため、担当者を追加 オムニバス形式で実施(24)
					兼任	教授	山田 秀	平成24年4月	教養講座(ふくおか事始め～福岡県経済と福岡都市圏の課題と展望)※	教育課程の充実を図るため、担当者を追加 オムニバス形式で実施(24)
					兼任	教授	下村 耕史	平成24年4月	教養講座(近代日本の美術) 教養ゼミナール(19世紀都市と視点) 教養ゼミナール(世紀末における社会的モデルネと美的モデルネ)	教育課程の充実を図るため、担当者を追加(24)
					兼任	教授	秋山 優	平成24年4月	学生ボランティア入門※	平成24年4月から 教育課程の充実を図るため、 科目を追加 オムニバス形式で実施(24)(25)
					兼任	教授	韓方 泉	平成24年4月	学生ボランティア入門※	平成24年4月から 教育課程の充実を図るため、 科目を追加 オムニバス形式で実施(24)(25)

認可時の計画					変更状況					
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	就任予定年月	担当授業科目名	備考
					兼任	教授	安河内 春彦	平成25年4月	スポーツ科学演習 A	教育課程の充実を図るため、担当者を追加(25)
					兼任	教授	渡邊 雄二	平成25年4月	教養講座(祐右衛門様式学-“やきもの”の技法と歴史及び実-)※	教育課程の充実を図るため、担当者を追加 オムニバス形式で実施(25)
					兼任	教授	小林 繁夫	平成25年4月	教養講座(祐右衛門様式学-“やきもの”の技法と歴史及び実-)※	教育課程の充実を図るため、担当者を追加 オムニバス形式で実施(25)
兼任	准教授	牟田 正憲	平成22年4月	基礎数学	兼任	講師	銀谷 俊輔	平成23年4月	基礎数学	授業時間割編成において担当者の変更(23)(24)(25)
兼任	准教授	金子 和也	平成22年4月	基礎物理	兼任	准教授	奥野 隼迅	平成23年4月	基礎物理	授業時間割編成において担当者の変更(23)
					兼任	准教授	金子 和也	平成24年4月	基礎物理	届出時の教員が担当する(24)(25)
兼任	准教授	内田 泰三	平成22年4月	生態学						
兼任	准教授	野口 広明	平成22年4月	欧米の文学 ドイツ語Ⅰ ドイツ語Ⅱ	兼任	講師	林 秀彦	平成22年4月	ドイツ語Ⅰ ドイツ語Ⅱ	授業時間割編成において担当者の変更(22)
					兼任	准教授	野口 広明	平成23年4月	ドイツ語Ⅰ ドイツ語Ⅱ	届出時の教員が担当する(23)(24)
					兼任	教授	尾張 充典	平成25年4月	ドイツ語Ⅰ ドイツ語Ⅱ	授業時間割編成において担当者の変更(25)
兼任	准教授	橋本 祐子	平成22年4月	法学 日本国憲法	兼任	講師	矢野 聖慈	平成24年4月	法学	授業時間割編成において担当者の変更(24)
					兼任	准教授	橋本 祐子	平成25年4月	法学	届出時の教員が担当する(25)
					兼任	講師	矢野 聖慈	平成22年4月	日本国憲法	授業時間割編成において担当者の変更(22)(23)(24)(25)
兼任	准教授	奥村 浩正	平成22年4月	健康学 スポーツ科学演習 A スポーツ科学演習 B	兼任	教授	村谷 博英	平成22年4月	健康学	授業時間割編成において担当者の変更(22)
					兼任	教授	安河内 春彦	平成23年4月	スポーツ科学演習 A 健康学	授業時間割編成において担当者の変更(23)(24)
					兼任	講師	安陪 大治郎	平成24年4月	健康学	授業時間割編成において担当者の変更(24)
					兼任	教授	安河内 春彦	平成25年4月	健康学	授業時間割編成において担当者の変更(25)
					兼任	教授	奥村 浩正	平成25年4月	スポーツ科学演習 A	届出時の教員が担当する(25)
兼任	准教授	高原 裕二	平成22年4月	英語Ⅰ 英語Ⅱ	兼任	講師	神澤 芳賢	平成22年4月	英語Ⅰ 英語Ⅱ	授業時間割編成において担当者の変更(22)(23)
					兼任	講師	藤野 和恵	平成24年4月	英語Ⅰ 英語Ⅱ	授業時間割編成において担当者の変更(24)
					兼任	教授	高原 裕二	平成25年4月	英語Ⅰ 英語Ⅱ	届出時の教員が担当する(25)
					兼任	教授	高原 裕二	平成25年4月		平成25年4月1日教授昇任(25)
兼任	准教授	原口 正夫	平成23年4月	英語Ⅲ 英語Ⅳ	兼任	講師	黒瀬 悠佳子	平成23年4月	英語Ⅲ 英語Ⅳ	授業時間割編成において担当者の変更(23)(24)
					兼任	講師	保家 信太郎	平成25年4月	英語Ⅲ 英語Ⅳ	授業時間割編成において担当者の変更(25)
					兼任	准教授	尾張 充典	平成22年4月	教養講座(ドイツ映画)	教育課程の充実を図るため、担当者を追加(22)(23)(24)
					兼任	教授	尾張 充典	平成24年4月		平成24年4月1日教授昇任(24)
					兼任	准教授	野口 広明	平成22年4月	教養講座(ヨーロッパ学入門)	教育課程の充実を図るため、担当者を追加(22)(23)(24)
					兼任	准教授	伊藤 弥生	平成22年4月	教養ゼミナール (セクシャリティの尊厳と多様性を学ぶ)	教育課程の充実を図るため、担当者を追加(22)(23)
					兼任	准教授	伊藤 弥生	平成24年4月	教養ゼミナール (一緒にすすめる進路活動)	サブタイトルを変更(24)(25)
					兼任	准教授	長谷川 由紀子	平成22年4月	教養ゼミナール(映像を通して学ぶ韓国文化)	教育課程の充実を図るため、担当者を追加(22)(23)
					兼任	准教授	森川 友子	平成22年4月	教養ゼミナール(「入門 心理療法の世界」)	教育課程の充実を図るため、担当者を追加(22)
					兼任	准教授	安永 信二	平成22年4月	教養ゼミナール(ギリシア神話の探求)	教育課程の充実を図るため、担当者を追加(22)(24)(25)
					兼任	准教授	山下 勉	平成22年4月	教養ゼミナール(アメリカの“アメリカらしさ”を知らう)	教育課程の充実を図るため、担当者を追加(22)
					兼任	准教授	橋本 祐子	平成22年4月	教養ゼミナール(映画で学ぶ法と裁判)	教育課程の充実を図るため、担当者を追加(22)(23)
					兼任	准教授	志水 智子	平成23年4月	教養ゼミナール(アメリカの“アメリカらしさ”を知らう)	教育課程の充実を図るため、担当者を追加(23)
					兼任	准教授	古賀 道生	平成23年4月	教養講座(祐右衛門様式学-“やきもの”の技法と歴史及び実-)※	教育課程の充実を図るため、担当者を追加 オムニバス形式で実施(23)(24)
					兼任	准教授	萱沼 美香	平成24年4月	教養講座(ふくおか事始め～福岡県経済と福岡都市圏の課題と展望)※	教育課程の充実を図るため、担当者を追加 オムニバス形式で実施(24)
					兼任	准教授	宗像 優	平成24年4月	教養講座(ふくおか事始め～福岡県経済と福岡都市圏の課題と展望)※	教育課程の充実を図るため、担当者を追加 オムニバス形式で実施(24)
					兼任	准教授	安高 敬司	平成24年4月	教養講座(ふくおか事始め～福岡県経済と福岡都市圏の課題と展望)※	教育課程の充実を図るため、担当者を追加 オムニバス形式で実施(24)
					兼任	准教授	山崎 博司	平成24年4月	教養講座(ふくおか事始め～福岡県経済と福岡都市圏の課題と展望)※	教育課程の充実を図るため、担当者を追加 オムニバス形式で実施(24)
					兼任	准教授	中村 賢仁	平成24年4月	学生サポーター	平成24年4月から 教育課程の充実を図るため、 科目を追加(24)(25)

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼任の別	職名	氏名	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任の別	職名	氏名	就任予定年月	担当授業科目名	
					兼任	准教授	橋本 祐子	平成25年4月	教養講座(九産大・学)※	教育課程の充実を図るため、担当者を追加 オムニバス形式で実施(25)
					兼任	准教授	水野 祥子	平成25年4月	教養ゼミナール(映画で学ぶイギリスの歴史と社会)	教育課程の充実を図るため、担当者を追加(25)
					兼任	准教授	Luke Fryer	平成25年4月	Overseas Job Training	平成22年4月から 教育課程の充実を図るため、 科目を追加(25) 教育課程の充実を図るため、担当者を追加(25)
兼任	講師	渋谷 謙一	平成22年4月	基礎数学	兼任	講師	田中 徳子	平成22年4月	基礎数学	授業時間割編成において担当者の変更 (22)(23)(24)(25)
					兼任	講師	若林 徳子	平成24年4月		旧姓使用希望のため変更(24)(25)
兼任	講師	脇黒 長憲	平成22年4月	基礎物理	兼任	講師	扇野 重之	平成23年4月	基礎物理	平成23年3月 脇黒長憲講師退職のため担当者の変更 (23)(24)(25)
兼任	講師	福原 澄子	平成22年4月	西洋建築史 日本建築史 保存修業計画	兼任	講師	富田 英夫	平成24年4月	西洋建築史 日本建築史 保存修業計画	平成24年2月 福原澄子講師退職のため担当者を変更 (24)(25)
兼任	講師	吉原 弘道	平成22年4月	日本の歴史 日本の歴史A 日本の歴史B						
					兼任	講師	河村 哲夫	平成24年4月	日本の歴史A 日本の歴史B	授業時間割編成において担当者を変更 (24)(25)
兼任	講師	田村 隆	平成22年4月	日本の文学	兼任	講師	今井 明	平成22年4月	日本の文学	授業時間割編成において担当者の変更 (22)(23)
					兼任	講師	森 誠子	平成24年4月	日本の文学	授業時間割編成において担当者を変更 (24)(25)
兼任	講師	金 尾勲	平成22年4月	アートスクール【デザイン基礎】※	兼任	講師	田 承雄	平成22年4月	アートスクール【デザイン基礎】※	授業時間割編成において担当者の変更 オムニバス形式で実施(22)
					兼任	准教授	安武 正剛	平成23年4月	アートスクール【デザイン基礎】※	授業時間割編成において担当者の変更 オムニバス形式で実施(23)(24)(25)
兼任	講師	神澤 芳賢	平成23年4月	英語Ⅲ 英語Ⅳ	兼任	講師	與古光 宏	平成23年4月	英語Ⅲ 英語Ⅳ	授業時間割編成において担当者の変更 (23)
					兼任	講師	神澤 芳賢	平成24年4月	英語Ⅲ 英語Ⅳ	届出時の教員が担当する(24)
					兼任	教授	大賀 信幸	平成25年4月	英語Ⅲ 英語Ⅳ	授業時間割編成において担当者の変更 (25)
兼任	講師	南 佑亮	平成22年4月	英語Ⅰ 英語Ⅱ 英語Ⅲ 英語Ⅳ	兼任	講師	立山 昇	平成22年4月	英語Ⅰ 英語Ⅱ	授業時間割編成において担当者の変更 (22)
					兼任	講師	南 佑亮	平成23年4月	英語Ⅰ 英語Ⅱ	届出時の教員が担当する(23)
					兼任	准教授	志水 智子	平成24年4月	英語Ⅰ 英語Ⅱ	平成24年3月 南佑亮講師退職のため担当者を変更 (24)(25)
					兼任	講師	鳥居 佳江	平成23年4月	英語Ⅲ 英語Ⅳ	授業時間割編成において担当者の変更 (23)
					兼任	講師	與古光 宏	平成25年4月	英語Ⅲ 英語Ⅳ	平成24年3月 南佑亮講師退職のため担当者を変更 (24)(25)
兼任	講師	Corbet Vernon Sullivan	平成22年4月	英語会話Ⅰ 英語会話Ⅱ 英語会話Ⅲ 英語会話Ⅳ 英語会話Ⅴ 英語会話Ⅵ	兼任	講師	Andrew Gallacher	平成25年4月	英語会話Ⅰ 英語会話Ⅱ 英語会話Ⅲ 英語会話Ⅳ	授業時間割編成において担当者の変更 (25)
					兼任	講師	大園 修一	平成25年4月	英語会話Ⅴ 英語会話Ⅵ	授業時間割編成において担当者の変更 (25)
兼任	講師	Luke Fryer	平成22年4月	英語会話Ⅰ 英語会話Ⅱ 英語会話Ⅲ 英語会話Ⅳ 英語会話Ⅴ 英語会話Ⅵ	兼任	講師	Wayne Macpherson	平成22年4月	英語会話Ⅰ 英語会話Ⅱ	授業時間割編成において担当者の変更 (22)
					兼任	講師	Luke Fryer	平成23年4月	英語会話Ⅰ 英語会話Ⅱ	届出時の教員が担当する(23)(25)
					兼任	講師	Andrew Gallacher	平成24年4月	英語会話Ⅰ 英語会話Ⅱ	授業時間割編成において担当者を変更 (24)
					兼任	講師	徳永 美紀	平成23年4月	英語会話Ⅴ 英語会話Ⅵ	授業時間割編成において担当者の変更 (23)
					兼任	講師	大園 修一	平成24年4月	英語会話Ⅴ 英語会話Ⅵ	授業時間割編成において担当者を変更 (24)
					兼任	講師	川嶋 真由美	平成25年4月	英語会話Ⅴ 英語会話Ⅵ	授業時間割編成において担当者を変更 (25)
兼任	講師	Trevor Allan Holster	平成22年4月	英語会話Ⅰ 英語会話Ⅱ 英語会話Ⅲ 英語会話Ⅳ	兼任	講師	Williams Ray	平成23年4月	英語会話Ⅰ 英語会話Ⅱ 英語会話Ⅲ 英語会話Ⅳ	授業時間割編成において担当者の変更 (23)(24)(25)
兼任	講師	Charles Jefferson Anderson	平成22年4月	英語会話Ⅰ 英語会話Ⅱ 英語会話Ⅲ 英語会話Ⅳ	兼任	講師	Stephen Paton	平成22年4月	英語会話Ⅰ 英語会話Ⅱ	授業時間割編成において担当者の変更 (22)
					兼任	講師	Eric Jonathan Miller	平成23年4月	英語会話Ⅰ 英語会話Ⅱ	授業時間割編成において担当者の変更 (23)(24)
					兼任	講師	Charles Jefferson Anderson	平成25年4月	英語会話Ⅰ 英語会話Ⅱ	届出時の教員が担当する(25)
					兼任	講師	Luke Fryer	平成25年4月	英語会話Ⅲ 英語会話Ⅳ	授業時間割編成において担当者の変更 (25)
兼任	講師	Linda Marie Joyce	平成22年4月	英語会話Ⅰ 英語会話Ⅱ 英語会話Ⅲ 英語会話Ⅳ						
兼任	講師	William Ludwell Quint Oga-Baldwin	平成22年4月	英語会話Ⅰ 英語会話Ⅱ 英語会話Ⅲ 英語会話Ⅳ 英語会話Ⅴ 英語会話Ⅵ	兼任	講師	Alexander Cameron	平成22年4月	英語会話Ⅰ 英語会話Ⅱ	授業時間割編成において担当者の変更 (22)
					兼任	講師	Alexander Cameron	平成23年4月	英語会話Ⅰ 英語会話Ⅱ 英語会話Ⅲ 英語会話Ⅳ	兼任から兼任となったことに伴う区分の変更 授業時間割編成において担当者の変更 (23)(24)(25)
								平成24年4月	英語会話Ⅴ 英語会話Ⅵ	授業時間割編成において開講クラスを 調整 担当者を削除(24)(25)
兼任	講師	Timothy James Pritchard	平成22年4月	英語会話Ⅰ 英語会話Ⅱ 英語会話Ⅲ 英語会話Ⅳ	兼任	講師	Michael Jordan Berg	平成24年4月	英語会話Ⅲ 英語会話Ⅳ	授業時間割編成において担当者を変更 (24)
					兼任	講師	Timothy James Pritchard	平成25年4月	英語会話Ⅲ 英語会話Ⅳ	届出時の教員が担当する(25)

認可時の計画					変更状況					
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	就任予定年月	担当授業科目名	備考
兼任	講師	Jeffrey John Ralph Stewart	平成22年4月	英語会話Ⅰ 英語会話Ⅱ 英語会話Ⅲ 英語会話Ⅳ 英語会話Ⅴ 英語会話Ⅵ						
					兼任	講師	Adam Gabriel Stone	平成24年4月	英語会話Ⅲ 英語会話Ⅳ	授業時間割編成において担当を変更(24)
					兼任	講師	Jeffrey John Ralph Stewart	平成25年4月	英語会話Ⅲ 英語会話Ⅳ	届出時の教員が担当する(25)
								平成24年4月	英語会話Ⅴ 英語会話Ⅵ	授業時間割編成において開講クラスを調整 担当者を削除(24)(25)
兼任	講師	Bovee, Hiroyuki Nicholas	平成22年4月	英語会話Ⅰ 英語会話Ⅱ 英語会話Ⅲ 英語会話Ⅳ 英語会話Ⅴ 英語会話Ⅵ	兼任	講師	Mason Lampert	平成22年4月	英語会話Ⅰ 英語会話Ⅱ	授業時間割編成において担当の変更(22)
					兼任	講師	Bovee, Hiroyuki Nicholas	平成23年4月	英語会話Ⅰ 英語会話Ⅱ	届出時の教員が担当する(23)(24)(25)
								平成24年4月	英語会話Ⅴ 英語会話Ⅵ	授業時間割編成において開講クラスを調整 担当者を削除(24)
兼任	講師	Darcy DeLint	平成22年4月	英語会話Ⅰ 英語会話Ⅱ 英語会話Ⅲ 英語会話Ⅳ	兼任	講師	Andrew Thompson	平成23年4月	英語会話Ⅰ 英語会話Ⅱ 英語会話Ⅲ 英語会話Ⅳ	授業時間割編成において担当の変更(23)(24)(25)
兼任	講師	與古光 宏	平成24年4月	英語Ⅴ 英語Ⅵ	兼任	講師	保家 信太郎	平成24年4月	英語Ⅴ 英語Ⅵ	授業時間割編成において担当を変更(24)(25)
兼任	講師	保家 信太郎	平成22年4月	英語Ⅰ 英語Ⅱ 英語Ⅴ 英語Ⅵ	兼任	講師	與古光 宏	平成22年4月	英語Ⅰ 英語Ⅱ	授業時間割編成において担当の変更(22)(23)(24)
					兼任	講師	保家 信太郎	平成25年4月	英語Ⅰ 英語Ⅱ	届出時の教員が担当する(25)
					兼任	講師	與古光 宏	平成25年4月	英語Ⅴ 英語Ⅵ	授業時間割編成において担当の変更(25)
兼任	講師	徳永 英紀	平成24年4月	英語Ⅴ 英語Ⅵ				平成24年4月	英語Ⅴ 英語Ⅵ	授業時間割編成において開講クラスを調整 担当者を削除(24)(25)
兼任	講師	Coochrane Robert	平成22年4月	英語会話Ⅰ 英語会話Ⅱ 英語会話Ⅲ 英語会話Ⅳ						
兼任	講師	Gibson Aaron LeVan	平成22年4月	英語会話Ⅰ 英語会話Ⅱ 英語会話Ⅲ 英語会話Ⅳ 英語会話Ⅴ 英語会話Ⅵ				平成25年4月	英語会話Ⅴ 英語会話Ⅵ	授業時間割編成において開講クラスを調整 担当者を削除(25)
兼任	講師	Marie Emilie Masson	平成22年4月	英語会話Ⅰ 英語会話Ⅱ 英語会話Ⅲ 英語会話Ⅳ 英語会話Ⅴ 英語会話Ⅵ	兼任	講師	Jenifer Larson-Hall	平成23年4月	英語会話Ⅲ 英語会話Ⅳ	授業時間割編成において担当の変更(23)
					兼任	講師	Andrew Gallacher	平成24年4月	英語会話Ⅲ 英語会話Ⅳ	授業時間割編成において担当を変更(24)
					兼任	講師	Stephen Paton	平成25年4月	英語会話Ⅲ 英語会話Ⅳ	授業時間割編成において担当を変更(25)
								平成24年4月	英語会話Ⅴ 英語会話Ⅵ	授業時間割編成において開講クラスを調整 担当者を削除(24)(25)
兼任	講師	Millikan Stella	平成22年4月	英語会話Ⅰ 英語会話Ⅱ 英語会話Ⅲ 英語会話Ⅳ 英語会話Ⅴ 英語会話Ⅵ				平成24年4月	英語会話Ⅴ 英語会話Ⅵ	授業時間割編成において開講クラスを調整 担当者を削除(24)(25)
兼任	講師	Stubbe Raymond George	平成22年4月	英語会話Ⅰ 英語会話Ⅱ						
兼任	講師	Wilkins Simon	平成22年4月	英語会話Ⅰ 英語会話Ⅱ 英語会話Ⅲ 英語会話Ⅳ	兼任	講師	Stephen Paton	平成24年4月	英語会話Ⅰ 英語会話Ⅱ	授業時間割編成において担当を変更(24)
					兼任	講師	Wilkins Simon	平成25年4月	英語会話Ⅰ 英語会話Ⅱ	届出時の教員が担当する(25)
					兼任	准教授	Luke Fryer	平成24年4月	英語会話Ⅲ 英語会話Ⅳ	授業時間割編成において担当を変更(24)
兼任	講師	大園 修一	平成22年4月	英語Ⅰ 英語Ⅱ 英語Ⅴ 英語Ⅵ	兼任	准教授	三浦 香織	平成24年4月	英語Ⅰ 英語Ⅱ	授業時間割編成において担当を変更(24)
					兼任	講師	田中 優子	平成25年4月	英語Ⅰ 英語Ⅱ	授業時間割編成において担当を変更(25)
								平成25年4月	英語Ⅴ 英語Ⅵ	授業時間割編成において開講クラスを調整 担当者を削除(25)
兼任	講師	大西 素	平成22年4月	教養講座(行列ができるほど役立つ法律講義)	兼任	講師	藤田 尚志	平成22年4月	教養講座(結婚の哲学-愛・性・家族について考えてみる)	教育課程の充実を図るため、担当者を追加(22)(23)(24)(25)
兼任	講師	金崎 雅之	平成22年4月	教養ゼミナール(経済学と数学の基礎)	兼任	講師	金崎 雅之	平成23年4月	教養ゼミナール(経済学と数学の基礎)	教育課程の充実を図るため、担当者を追加(22)(24)(25)
兼任	准教授	金崎 雅之			兼任	准教授	金崎 雅之	平成23年4月	准教授昇任(23)(24)(25)	
兼任	講師	石田 俊一	平成22年4月	教養講座(身近な数学) 教養ゼミナール(情報の収集と発信)	兼任	講師	石田 俊一	平成24年4月	教養ゼミナール(情報の収集と発信)	教育課程の充実を図るため、担当者を追加(22)(23)(24)
兼任	講師	石田 俊一	平成24年4月	教養ゼミナール(情報の収集と発信)	兼任	講師	石田 俊一	平成24年4月	教養ゼミナール(情報の収集と発信)	授業時間割編成において開講クラスを調整(24)(25)
兼任	講師	峯 洋子	平成22年4月	教養ゼミナール(仲間をつくらう)	兼任	講師	峯 洋子	平成22年4月	教養ゼミナール(仲間をつくらう)	教育課程の充実を図るため、担当者を追加(22)(23)(24)(25)
兼任	講師	鬼塚 洋子	平成24年4月		兼任	講師	鬼塚 洋子	平成24年4月		旧姓使用希望のため変更(24)(25)
兼任	講師	吉原 弘道	平成22年4月	教養ゼミナール(日本の中世)	兼任	講師	吉原 弘道	平成22年4月	教養ゼミナール(日本の中世)	教育課程の充実を図るため、担当者を追加(22)
兼任	講師	吉原 弘道	平成24年4月	教養ゼミナール(映像で学ぶ日本の歴史)	兼任	講師	吉原 弘道	平成24年4月	教養ゼミナール(映像で学ぶ日本の歴史)	サブタイトルを変更(24)(25)
兼任	講師	Bovee, Hiroyuki Nicholas	平成22年4月	Domestic Job Training	兼任	講師	Bovee, Hiroyuki Nicholas	平成22年4月	Domestic Job Training	平成22年4月から 教育課程の充実を図るため、 科目を追加(22)(25)

認可時の計画					変更状況					
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	就任予定年月	担当授業科目名	備考
					兼任	講師	Charles Jefferson Anderson	平成22年4月	Four Skills I Four Skills II	平成22年4月から教育課程の充実を図るため、科目を追加(22)
					兼任	講師	Luke Fryer	平成22年4月	Four Skills I Four Skills II Overseas Job Training	平成22年4月から教育課程の充実を図るため、科目を追加(22)
					兼任	准教授	Luke Fryer	平成24年4月		平成24年4月1日准教授昇任(24)
					兼任	講師	鍛冶 俊輔	平成23年4月	教養講座 (Excelでデータ解析) 教養ゼミナール (Excelの初歩から)	教育課程の充実を図るため、担当者を追加(23) (24)
					兼任	講師	鍛冶 俊輔	平成24年4月	教養ゼミナール (Excelの初歩から)	授業時間割編成において開講クラスを調整(24)
					兼任	講師	森 誠子	平成23年4月	教養講座 (乱世より生まれた文学) 教養ゼミナール (虚空を程えた、福岡の名所巡り) 教養ゼミナール (異界への誘い)	教育課程の充実を図るため、担当者を追加(23)
					兼任	講師	上西 聡子	平成24年4月	教養ゼミナール (科学と政治の問題に触れてみよう) 教養ゼミナール (宗教学会学に触れてみよう)	教育課程の充実を図るため、担当者を追加(24)
					兼任	講師	立山 昇	平成23年4月	英語 I 英語 II	教育課程の充実を図るため、担当者を追加(23)
					兼任	講師	徳永 美紀	平成23年4月	英語 III 英語 IV	教育課程の充実を図るため、担当者を追加(23)
					兼任	講師	岡古光 宏	平成24年4月	英語 III 英語 IV	教育課程の充実を図るため、担当者を追加(24)
					兼任	講師	土岸 真由美	平成24年4月	英語 III 英語 IV	教育課程の充実を図るため、担当者を追加(24) (25)
					兼任	講師	川嶋 真由美	平成25年4月		担当者の増補に伴う氏名の変更(25)
					兼任	講師	Marie Emilie Masson	平成23年4月	Four Skills I Four Skills II	教育課程の充実を図るため、担当者を追加(23) (24) (25)
					兼任	講師	Mark Walker Howarth	平成24年4月	Four Skills I Four Skills II	教育課程の充実を図るため、担当者を追加(24) (25)
					兼任	講師	Charles Jefferson Anderson	平成23年4月	Advanced Reading & Writing I Advanced Reading & Writing II	平成23年4月から教育課程の充実を図るため、科目を追加(23)
					兼任	講師	Wilkins Simon	平成23年4月	Advanced Reading & Writing I Advanced Reading & Writing II Professional Writing Skills	平成23年4月から教育課程の充実を図るため、科目を追加(23)
					兼任	講師	Jeffrey John Ralph Stewart	平成24年4月	Advanced Reading & Writing I Advanced Reading & Writing II	教育課程の充実を図るため、担当者を追加(24)
					兼任	講師	Jeffrey John Ralph Stewart	平成23年4月	Introduction to Online English	平成23年4月から教育課程の充実を図るため、科目を追加(23)
					兼任	講師	Cochrane Robert	平成24年4月	Introduction to Online English	授業時間割編成において担当者を変更(24) (25)
					兼任	講師	Bovee, Hiroyuki Nicholas	平成23年4月	Introduction to Translation	平成23年4月から教育課程の充実を図るため、科目を追加(23)
					兼任	講師	Millikan Stella	平成23年4月	Writing for Specific Purposes	平成23年4月から教育課程の充実を図るため、科目を追加(23)
					兼任	講師	吉原 弘道	平成22年4月	教養講座 (文化財から歴史を語る)	教育課程の充実を図るため、担当者を追加(25)
					兼任	教授	石田 俊一	平成25年4月	教養講座 (九産大・学) ※	教育課程の充実を図るため、担当者を追加 オムニバス形式で実施(25)
					兼任	講師	Andrew Thompson	平成25年4月	Four Skills I Four Skills II	教育課程の充実を図るため、担当者を追加(25)
					兼任	講師	Stella Millikan	平成25年4月	Four Skills I	教育課程の充実を図るため、担当者を追加(25)
					兼任	講師	Jeffrey John Ralph Stewart	平成25年4月	Advanced Reading & Writing I	教育課程の充実を図るため、担当者を追加(25)
					兼任	助教	中尾 武平	平成25年4月	スポーツ科学演習 A	教育課程の充実を図るため、担当者を追加(25)
兼任	講師	杉崎 昌和	平成22年4月	基礎物理	兼任	准教授	赤坂 亮	平成22年4月	基礎物理	授業時間割編成において担当者の変更(22)
					兼任	准教授	中原 健志	平成23年4月	基礎物理	授業時間割編成において担当者の変更(23)
					兼任	准教授	徐 迅	平成24年4月	基礎物理	授業時間割編成において担当者を変更(24) (25)
兼任	講師	奥田 篤行	平成22年4月	基礎物理	兼任	准教授	中村 賢仁	平成22年4月	基礎物理	授業時間割編成において担当者の変更(22) (23) (24) (25)
兼任	講師	藤井 裕也	平成24年4月	建築施工	兼任	講師	小山内 裕	平成24年4月	建築施工	授業時間割編成において担当者を変更(24) (25)
兼任	講師	尾方 孝弘	平成22年4月	設計製図実習						
兼任	講師	家原 英生	平成23年4月	住居・インテリア設計基礎実習	兼任	講師	吉高 由香	平成25年4月	住居・インテリア設計基礎実習	授業時間割編成において担当者を変更(25)
兼任	講師	深野木 隆	平成23年4月	住宅設計実習						
兼任	講師	谷口 遼	平成24年4月	インテリア設計実習						
兼任	講師	杉村 逸男	平成24年4月	木造建築論	兼任	講師	小林 利武	平成24年4月	木造建築論	授業時間割編成において担当者を変更(24) (25)
兼任	講師	福山 秀親	平成24年4月	オフィス・ショップ設計実習						
兼任	講師	柳瀬 真澄	平成24年4月	オフィス・ショップ設計実習	兼任	講師	柳瀬 真澄	平成24年4月	インテリア設計実習	教育課程の充実を図るため、担当科目を追加(24)
兼任	講師	井上 伸也	平成25年4月	ファシリティ・マネジメント	兼任	講師	梶原 正浩	平成25年4月	ファシリティ・マネジメント	授業時間割編成において担当者を変更(25)

認可時の計画					変更状況					
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	就任予定年月	担当授業科目名	備考
兼任	講師	高吉 健周	平成22年4月	哲学の世界 倫理の世界	兼任	講師	平井 晴史	平成23年4月	哲学の世界	担当教員退職のため担当者の変更(23)
					兼任	講師	後藤 正英	平成24年4月	哲学の世界	担当教員退職のため担当者の変更(24)
					兼任	講師	倉田 剛	平成25年4月	哲学の世界	授業時間割編成において担当者を変更(25)
					兼任	講師	藤田 尚志	平成23年4月	倫理の世界	担当教員退職のため担当者の変更(23)
兼任	講師	梅津 教孝	平成22年4月	ヨーロッパの歴史	兼任	講師	中経米 明子	平成22年4月	ヨーロッパの歴史	授業時間割編成において担当者の変更(22)(24)(25)
兼任	講師	中島 俊介	平成22年4月	心理学の世界	兼任	講師	森田 智	平成23年4月	心理学の世界	授業時間割編成において担当者の変更(23)
					兼任	講師	中島 俊介	平成24年4月	心理学概説	科目名称を変更(24) 届出時の教員が担当する(24)
					兼任	講師	磯波 幸徳	平成25年4月	心理学概説	授業時間割編成において担当者の変更(25)
兼任	講師	成末 繁郎	平成22年4月	文化人類学						
兼任	講師	野田 徹	平成22年4月	アジアの歴史	兼任	講師	内田 直文	平成22年4月	アジアの歴史	授業時間割編成において担当者の変更(22)
					兼任	准教授	内田 直文			兼任から兼任になったことに伴う区分の変更(23)
					兼任	講師	野田 徹	平成24年4月	アジアの歴史	届出時の教員が担当する(24)(25)
兼任	講師	方 大年	平成22年4月	日本の地理と風土 世界の地理と風土	兼任	講師	浅見 良露	平成22年4月	世界の地理と風土	授業時間割編成において担当者の変更(22)(23)(25)
兼任	講師	中川 誠士	平成22年4月	現代の経営						
兼任	講師	渡辺 守雄	平成22年4月	現代の政治 日本の政治経済 A 日本の政治経済 B	兼任	講師	平 誠一	平成22年4月	現代の政治	授業時間割編成において担当者の変更(22)(23)
					兼任	講師	山崎 将文	平成24年4月	現代の政治	授業時間割編成において担当者を変更(24)
					兼任	准教授	橋本 祐子	平成25年4月	現代の政治	授業時間割編成において担当者を変更(25)
					兼任	講師	三宅 浩之	平成22年4月	日本の政治経済 A 日本の政治経済 B	授業時間割編成において担当者の変更(22)(23)(24)(25)
兼任	講師	田中 豊治	平成22年4月	現代の社会	兼任	講師	平田 毅	平成24年4月	現代の社会	授業時間割編成において担当者を変更(24)(25)
兼任	講師	長谷川 伸子	平成22年4月	ジェンダーと社会	兼任	講師	倉富 史枝	平成22年4月	ジェンダーと社会	授業時間割編成において担当者の変更(22)(23)(24)(25)
兼任	講師	荒井 秋晴	平成22年4月	動物行動学	兼任	講師	毛利 孝之	平成22年4月	動物行動学	授業時間割編成において担当者の変更(22)
					兼任	講師	高橋 直樹	平成23年4月	動物行動学	授業時間割編成において担当者の変更(23)(24)(25)
兼任	講師	杉崎 裕子	平成22年4月	美学・美術史						
兼任	講師	京谷 啓徳	平成22年4月	世界の美術鑑Ⅰ 世界の美術鑑Ⅱ						
兼任	講師	長野 俊樹	平成22年4月	音楽概論Ⅰ 音楽概論Ⅱ						
兼任	講師	河口 陽子	平成22年4月	生涯学習	兼任	講師	楳上 一希	平成24年4月	生涯学習	授業時間割編成において担当者を変更(24)
					兼任	講師	勝山 吉章	平成25年4月	生涯学習	授業時間割編成において担当者を変更(25)
兼任	講師	坂本 浩一	平成22年4月	総合講座Ⅰ						
兼任	講師	好村 友江	平成22年4月	総合講座Ⅱ 総合講座Ⅲ 総合講座Ⅳ						
兼任	講師	園田 久子	平成22年4月	人権・同和問題	兼任	講師	大塚 正純	平成25年4月	人権・同和問題	授業時間割編成において担当者を変更(25)
兼任	講師	緒方 泉	平成22年4月	実践キャリア学修C						
兼任	講師	真角 幸宏	平成22年4月	フランス語Ⅰ フランス語Ⅱ	兼任	講師	野母 倫子	平成22年4月	フランス語Ⅰ フランス語Ⅱ	授業時間割編成において担当者の変更(22)
					兼任	講師	山本 兼代	平成23年4月	フランス語Ⅰ フランス語Ⅱ	授業時間割編成において担当者の変更(23)
					兼任	講師	野母 倫子	平成24年4月	フランス語Ⅰ フランス語Ⅱ	授業時間割編成において担当者を変更(24)(25)
兼任	講師	尾張 睦	平成23年4月	ドイツ語Ⅲ ドイツ語Ⅳ	兼任	教授	尾張 充典	平成24年4月	ドイツ語Ⅲ ドイツ語Ⅳ	授業時間割編成において担当者を変更(24)(25)
兼任	講師	朴 明美	平成22年4月	韓国語Ⅰ 韓国語Ⅱ	兼任	講師	李 知映	平成22年4月	韓国語Ⅰ 韓国語Ⅱ	授業時間割編成において担当者の変更(22)
					兼任	講師	金 貞淑	平成23年4月	韓国語Ⅰ 韓国語Ⅱ	授業時間割編成において担当者の変更(23)
					兼任	講師	李 秀英	平成24年4月	韓国語Ⅰ 韓国語Ⅱ	授業時間割編成において担当者を変更(24)
					兼任	講師	熊木 勉	平成25年4月	韓国語Ⅰ 韓国語Ⅱ	授業時間割編成において担当者を変更(25)
兼任	講師	王 曉芳	平成22年4月	中国語Ⅰ 中国語Ⅱ	兼任	講師	李 岩	平成22年4月	中国語Ⅰ 中国語Ⅱ	授業時間割編成において担当者の変更(22)
					兼任	講師	張 玲	平成23年4月	中国語Ⅰ 中国語Ⅱ	授業時間割編成において担当者の変更(23)(25)
					兼任	講師	陳 秋萍	平成24年4月	中国語Ⅰ 中国語Ⅱ	授業時間割編成において担当者を変更(24)
兼任	講師	岡田 美穂	平成22年4月	日本語初級 A 日本語初級 B 日本語初級 C 日本語初級 D						
兼任	講師	松本 妙子	平成23年4月	日本語中級 A 日本語中級 B 日本語中級 C 日本語中級 D	兼任	講師	井科 佐紀子	平成25年4月	日本語中級 A 日本語中級 B	授業時間割編成において担当者を変更(25)
					兼任	講師	矢毛 達之	平成24年4月	日本語中級 C 日本語中級 D	授業時間割編成において担当者を変更(24)(25)

認可時の計画					変更状況					
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	就任予定年月	担当授業科目名	備考
兼任	講師	三宅 浩之	平成22年4月	日本の文化A 日本の文化B	兼任	講師	波多野 真理子	平成22年4月	日本の文化A 日本の文化B	授業時間割編成において担当者の変更 (22) (23) (24) (25)
兼任	講師	岡本 顕実	平成22年4月	一般日本事情A 一般日本事情B	兼任	講師	占部 匡美	平成22年4月	一般日本事情A 一般日本事情B	授業時間割編成において担当者の変更 (24) (25)
兼任	講師	ブラウン 馬本 節子	平成22年4月	英語 I 英語 II	兼任	講師	梅田 真理	平成22年4月	英語 I 英語 II	授業時間割編成において担当者の変更 (22) (23) (24)
					兼任	講師	沖 洋子	平成25年4月	英語 I 英語 II	授業時間割編成において担当者の変更 (25)
兼任	講師	洲上 啓子	平成22年4月	英語 I 英語 II	兼任	講師	藤野 和恵	平成25年4月	英語 I 英語 II	授業時間割編成において担当者の変更 (25)
兼任	講師	長田 順子	平成22年4月	英語 I 英語 II 英語 III 英語 IV	兼任	講師	平川 知子	平成25年4月	英語 I 英語 II	授業時間割編成において担当者の変更 (25)
					兼任	講師	清水 慶子	平成23年4月	英語 III 英語 IV	授業時間割編成において担当者の変更 (23)
					兼任	講師	横尾 聡子	平成25年4月	英語 II 英語 IV	授業時間割編成において担当者の変更 (25)
兼任	講師	川口 千富美	平成22年4月	英語 I 英語 II 英語 III 英語 IV	兼任	講師	横尾 聡子	平成23年4月	英語 III 英語 IV	授業時間割編成において担当者の変更 (23)
					兼任	講師	中尾 かおり	平成24年4月	英語 III 英語 IV	授業時間割編成において担当者の変更 (24) (25)
兼任	講師	中原 由利香	平成22年4月	英語 I 英語 II 英語 III 英語 IV	兼任	講師	雨森 未来	平成25年4月	英語 I 英語 II	授業時間割編成において担当者の変更 (25)
					兼任	講師	銅堂 恵美子	平成24年4月	英語 III 英語 IV	授業時間割編成において担当者の変更 (24) (25)
兼任	講師	大場 智恵子	平成22年4月	英語 I 英語 II 英語 III 英語 IV	兼任	講師	小林 明子	平成24年4月	英語 I 英語 II	授業時間割編成において担当者の変更 (24) (25)
兼任	講師	郡嶋 由美子	平成22年4月	英語 I 英語 II	兼任	講師	山下 友子	平成25年4月	英語 I 英語 II	授業時間割編成において担当者の変更 (25)
兼任	講師	横尾 聡子	平成22年4月	英語 I 英語 II						
兼任	講師	岩崎 一恵	平成22年4月	英語 I 英語 II						
兼任	講師	中山 奈美	平成22年4月	英語 I 英語 II						
兼任	講師	上田 節美	平成23年4月	英語 III 英語 IV	兼任	講師	郡嶋 由美子	平成25年4月	英語 III 英語 IV	授業時間割編成において担当者の変更 (25)
兼任	講師	宮本 なつき	平成22年4月	英語 I 英語 II						
兼任	講師	石井 征子	平成22年4月	英語 I 英語 II						
兼任	講師	島居 佳江	平成24年4月	英語 V 英語 VI				平成24年4月	英語 V 英語 VI	授業時間割編成において開講クラスを 調整し担当者を削除(24) (25)
兼任	講師	ティム 森田 英樹	平成23年4月	英語 III 英語 IV 英語 V 英語 VI	兼任	講師	山田 泉	平成25年4月	英語 III 英語 IV	授業時間割編成において担当者の変更 (25)
								平成24年4月	英語 V 英語 VI	授業時間割編成において開講クラスを 調整し担当者を削除(24)
兼任	講師	岩城 有子	平成22年4月	英語 I 英語 II 英語 III 英語 IV	兼任	講師	上田 節美	平成22年4月	英語 I 英語 II	授業時間割編成において担当者の変更 (22) (23) (24) (25)
					兼任	講師	高木 仁美	平成23年4月	英語 III 英語 IV	授業時間割編成において担当者の変更 (23) (24)
					兼任	講師	高田 真由美	平成25年4月	英語 III 英語 IV	授業時間割編成において担当者の変更 (25)
兼任	講師	柴田 千秋	平成23年4月	英語 III 英語 IV						
兼任	講師	松尾 直美	平成23年4月	英語 III 英語 IV	兼任	講師	二宮 直美	平成23年4月		担当者の婚姻に伴う氏名の変更(23)
					兼任	講師	松尾 直美	平成24年4月		届出時の氏名に変更(24)
兼任	講師	渡邊 晶子	平成23年4月	英語 III 英語 IV						
兼任	講師	納富 淳子	平成23年4月	英語 III 英語 IV						
兼任	講師	梅田 真理	平成23年4月	英語 III 英語 IV	兼任	講師	川浪 幸代	平成23年4月	英語 III 英語 IV	授業時間割編成において担当者の変更 (23) (24) (25)
兼任	講師	平川 知子	平成23年4月	英語 III 英語 IV						
兼任	講師	Michael Coupe	平成22年4月	英語会話 I 英語会話 II 英語会話 III 英語会話 IV						
兼任	講師	Stephen Farmer	平成22年4月	英語会話 I 英語会話 II 英語会話 III 英語会話 IV						
兼任	講師	Mark Walker Howarth	平成22年4月	英語会話 I 英語会話 II 英語会話 III 英語会話 IV	兼任	講師	Mark Walker Howarth			兼任から兼任となったことに伴う区分 の変更(22)
兼任	講師	Ronald Wayne Parsons	平成22年4月	英語会話 I 英語会話 II 英語会話 III 英語会話 IV	兼任	講師	Oria Hirashima	平成23年4月	英語会話 I 英語会話 II	授業時間割編成において担当者の変更 (23) (24)
					兼任	講師	Stephen Paton	平成25年4月	英語会話 I 英語会話 II	授業時間割編成において担当者の変更 (25)
					兼任	講師	Stubbe Raymond George	平成23年4月	英語会話 III 英語会話 IV	授業時間割編成において担当者の変更 (23) (24) (25)

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	講師	Steven Silverman	平成22年4月	英語会話Ⅰ 英語会話Ⅱ 英語会話Ⅲ 英語会話Ⅳ						
兼任	講師	Matthew Asser	平成25年4月	英語表現法	兼任	講師	Wayne Macpherson	平成25年4月	英語表現法	授業時間割編成において担当者の変更(25)
兼任	講師	井上 由美	平成24年4月	英語Ⅴ 英語Ⅵ				平成24年4月	英語Ⅴ 英語Ⅵ	授業時間割編成において開講クラスを調整し、担当者を削除(24)(25)
兼任	講師	臼杵 岳	平成22年4月	英語Ⅰ 英語Ⅱ						
兼任	講師	空井 由花	平成22年4月	英語Ⅰ 英語Ⅱ	兼任	講師	三角 耕一郎	平成22年4月	英語Ⅰ 英語Ⅱ	授業時間割編成において担当者の変更(22)(23)
					兼任	講師	空井 由花	平成24年4月	英語Ⅰ 英語Ⅱ	届出時の教員が担当する(24)(25)
兼任	講師	三瀬 亜紀	平成23年4月	英語Ⅲ 英語Ⅳ	兼任	講師	原田 洋海	平成25年4月	英語Ⅲ 英語Ⅳ	授業時間割編成において担当者の変更(25)
兼任	講師	大藪 勉	平成23年4月	英語Ⅲ 英語Ⅳ	兼任	講師	空井 由花	平成23年4月	英語Ⅲ 英語Ⅳ	授業時間割編成において担当者の変更(23)
					兼任	講師	沖 洋子	平成24年4月	英語Ⅲ 英語Ⅳ	授業時間割編成において担当者を変更(24)(25)
兼任	講師	浜田 由紀子	平成22年4月	英語Ⅰ 英語Ⅱ						
兼任	講師	山崎 富英恵	平成23年4月	英語Ⅲ 英語Ⅳ	兼任	講師	藤原 恵子	平成23年4月	英語Ⅲ 英語Ⅳ	授業時間割編成において担当者の変更(23)(24)
					兼任	講師	松中 完二	平成25年4月	英語Ⅲ 英語Ⅳ	授業時間割編成において担当者の変更(25)
					兼任	講師	近藤 岳志	平成23年4月	設計製図実習	教育課程の充実を図るため、担当者を追加(23)(24)(25)
					兼任	講師	福山 秀親	平成23年4月	住居・インテリア設計基礎実習	教育課程の充実を図るため、担当者を追加(23)(24)(25)
					兼任	講師	小林 哲治	平成23年4月	住宅設計実習	教育課程の充実を図るため、担当者を追加(23)(24)(25)
					兼任	講師	岩本 達樹	平成24年4月	技術者倫理	教育課程の充実を図るため、担当者を追加(24)(25)
					兼任	講師	桐生 直代	平成24年4月	スタディ・スキル(国語力) スタディ・スキル(文筆力)	平成24年4月から 教養科目の充実を図るため、 科目を追加(24)(25)
					兼任	講師	川浪 幸代	平成23年4月	英語Ⅰ 英語Ⅱ	教育課程の充実を図るため、担当者を追加(23)(24)(25)
					兼任	講師	上田 節英	平成23年4月	英語Ⅰ 英語Ⅱ	教育課程の充実を図るため、担当者を追加(23)
					兼任	講師	塩田 真由美	平成23年4月	英語Ⅰ 英語Ⅱ	教育課程の充実を図るため、担当者を追加(23)(24)
					兼任	講師	洲上 啓子	平成23年4月	英語Ⅲ 英語Ⅳ	授業時間割編成において担当者の変更(23)
					兼任	講師	有岡 拓也	平成23年4月	英語Ⅲ 英語Ⅳ	教育課程の充実を図るため、担当者を追加(23)
					兼任	講師	松原 留英	平成24年4月	英語Ⅰ 英語Ⅱ	教育課程の充実を図るため、担当者を追加(24)
					兼任	講師	郡嶋 由美子	平成24年4月	英語Ⅲ 英語Ⅳ	授業時間割編成において担当者を変更(24)
					兼任	講師	Jenifer Larson-Hall	平成23年4月	英語会話Ⅰ 英語会話Ⅱ	教育課程の充実を図るため、担当者を追加(23)
					兼任	講師	Stephen Paton	平成23年4月	英語会話Ⅲ 英語会話Ⅳ	教育課程の充実を図るため、担当者を追加(23)(24)
					兼任	講師	Eric Jonathan Miller	平成23年4月	英語会話Ⅲ 英語会話Ⅳ	教育課程の充実を図るため、担当者を追加(23)(24)
					兼任	講師	Mason Lampert	平成23年4月	英語会話Ⅰ 英語会話Ⅱ 英語会話Ⅲ 英語会話Ⅳ	教育課程の充実を図るため、担当者を追加(23)(24)
					兼任	講師	Adam Gabriel Stone	平成24年4月	英語会話Ⅰ 英語会話Ⅱ	教育課程の充実を図るため、担当者を追加(24)
					兼任	講師	Michael Jordan Berg	平成24年4月	英語会話Ⅰ 英語会話Ⅱ	教育課程の充実を図るため、担当者を追加(24)
					兼任	講師	大田 勇之助	平成25年4月	インテリア設計実習	教育課程の充実を図るため、担当者を追加(25)
					兼任	講師	森 誠子	平成25年4月	スタディ・スキル(国語力) スタディ・スキル(文筆力)	教育課程の充実を図るため、担当者を追加(25)
					兼任	講師	占部 匡英	平成25年4月	実用英語 ライティング・スキル入門	平成25年4月から 教育課程の充実を図るため、科目を追加し、兼任教員が担当する(25)
					兼任	講師	田中 真理	平成25年4月	実用英語 ライティング・スキル入門	平成25年4月から 教育課程の充実を図るため、科目を追加し、兼任教員が担当する(25)
					兼任	講師	浅田 えり佳	平成25年4月	英語Ⅰ 英語Ⅱ	教育課程の充実を図るため、担当者を追加(25)
					兼任	講師	Alexander Bodnar	平成25年4月	英語会話Ⅰ 英語会話Ⅱ 英語会話Ⅲ 英語会話Ⅳ	教育課程の充実を図るため、担当者を追加(25)
					兼任	講師	Markus Rogger Yong	平成25年4月	英語会話Ⅰ 英語会話Ⅱ 英語会話Ⅲ 英語会話Ⅳ	教育課程の充実を図るため、担当者を追加(25)

- (注) ・ 申請書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、(〇〇学部 △△学科)の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。
- ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 - ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 - ・ 年齢は、「設置時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢を、「変更状況」には平成25年5月1日現在の満年齢を記入してください。
 - ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 - ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
 なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数

設置時の計画					変更状況					年齢構成	
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計	教員の定年年齢	定年を延長している教員数
4	0	4	0	8	4	3	1	0	8	教授 70/66 准教授 64 講師 64 助教 60	0
(4)	(0)	(4)	(0)	(8)	[0]	[3]	[△3]	[0]	[0]	歳	名

- (注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成25年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：△1)
- ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年年齢および、平成25年5月1日現在、特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

番号	職位	専任教員氏名	辞任(就任辞退を含む)等の理由
1			該当なし
2			
3			

- (注) ・ 専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<p>「大学の所見」 担当者を変更した科目については、授業科目の概要(シラバス)に基づき、その授業が実施可能な教員を学部教授会において審査したうえで授業を担当しているため、教育上問題はない。</p> <p>「学生への周知方法」 学生に配布する時間割表にて周知している。</p>
--

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設置計画履行状況 調 査 時 (23年2月)	国際文化学部日本文化学科の 入学定員超過の是正に努める こと。	国際文化学部日本文化学科の 入学定員超過の是正に努めた 結果、平成23年度は入学定員 60名に対し入学者は71名と なった。その結果、入学定員 超過率は1.18倍となり、平成 23年度平均定員超過率は、 1.27倍と是正されている。 (23)	
設置計画履行状況 調 査 時 (23年2月)	工学部都市基盤デザイン工学 科、バイオロボティクス学 科、芸術学部美術学科の定員 充足率が0.7倍未満となってい ることから、学生確保に努め るとともに、今後の定員の在 り方について検討すること。	工学部都市基盤デザイン工学 科の平成23年度平均定員超過 率は0.65倍であり、平成22年 度より若干であるが上昇して いる。また、平成22年度より 入学定員を80名から60名に 変更しており、今後平均定員超 過率は、上昇するものと考え られる。 バイオロボティクス学科の平 成23年度平均定員超過率は 0.62倍であり、平成22年度 より上昇している。また、平 成22年度より入学定員を65 名から55名に変更しており、 今後平均定員超過率は、上昇 するものと考えられる。 芸術学部美術学科の平成23 年度平均定員超過率は0.70 倍であり、平成22年度より上 昇している。 今後とも入学定員を確保す るため、学生募集活動に傾注 いたしたい。(23)	
設置計画履行状況 調 査 時 (24年2月)	工学部都市基盤デザイン工学 科、バイオロボティクス学科 の定員充足率が0.7倍未満と なっていることから、学生確 保に努めるとともに、入学定 員の見直しについて検討す ること。	工学部都市基盤デザイン工学 科の平成24年度平均定員超過 率は0.75倍であり、平成23 年度より上昇している。また、 平成22年度より入学定員を8 0名から60名に変更しており、 今後平均定員超過率は、上昇 するものと考えられる。 バイオロボティクス学科の平 成24年度平均定員超過率は 0.75倍であり、平成23年度 より上昇している。また、平 成22年度より入学定員を65 名から55名に変更しており、 今後平均定員超過率は、上昇 するものと考えられる。 今後とも入学定員を確保す るため、学生募集活動に傾注 いたしたい。(24)	

<p>設置計画履行状況 調査時 (25年2月)</p>	<p>商学部第二部商学科、芸術学部美術学科、九州造形短期大学造形芸術学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。</p>	<p>商学部第二部商学科については、全学部を対象とした入試検定料の割引制度、併願制度の導入や販売士等の資格講座を設置し、入学定員を確保するため、学生募集活動に傾注している。(25)</p> <p>芸術学部美術学科及び九州造形短期大学造形芸術学科については、入学定員も含め、芸術学部及び九州造形短期大学の統合・再編を視野に入れて、委員会を設置し検討している。また、九州造形短期大学造形芸術学科については、平成25年度から新専攻「デザイン書道専攻」を開設するなど、入学定員を確保するため、学生募集活動に傾注している。(25)</p>	
-------------------------------------	--	--	--

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。 （認可で設置された学部学科等のみ。）
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された留意事項に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。

定員管理の状況（平成25年5月1日現在）

大学名	学部・学科名	項目	25年度	24年度	23年度	22年度	25年度 平均定員 超過率	24年度 平均定員 超過率
九州産業大学	商学部第二部 商学科	入学定員超過率	0.36	0.40	0.74	0.88	0.59	0.67
		入学者数	18	20	37	44		
		入学定員	50	50	50	50		
	芸術学部 美術学科	入学定員超過率	0.65	0.35	0.56	0.68	0.56	0.58
		入学者数	52	28	45	55		
		入学定員	80	80	80	80		
九州造形短期大学	造形芸術学科	入学定員超過率	0.46	0.54			0.50	0.60
		入学者数	92	108				
		入学定員	200	200				

7 その他全般的事項

<工学部 住居・インテリア設計学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況, 今後の見通しなど
該当なし	

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
 ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

- ・ファカルティ・ディベロップメント委員会
- ・ファカルティ・ディベロップメント委員会学部専門部会
- ・ファカルティ・ディベロップメント委員会大学院専門部会
- ・工学部では、全学的FD委員会のもとに、学部独自の「工学部FD委員会」が設置されており、毎年、学部でのFD活動年間計画を策定し、年度初めの拡大教授会にて審議、了承された計画に基づき活動を行っている。住居・インテリア設計学科も開設年度より、担当教員1名を委員として工学部FD委員会に参画している。

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

- ・ファカルティ・ディベロップメント委員会 4回 各16人（委任、代理出席含む）
- ・ファカルティ・ディベロップメント委員会学部専門部会 3回 各11人（委任、代理出席含む）
- ・ファカルティ・ディベロップメント委員会大学院専門部会 3回 各7人（委任、代理出席含む）
- ・各学科の代表委員で構成される工学部FD委員会は、定期的に委員会を開催し、年間計画に基づく活動の具体的な実施について検討している。また、大学院FD委員会とも連携した取組を行っている。年度末の拡大教授会において活動結果が報告・了承され、新年度のFD活動実施計画も拡大教授会での審議・了承を経て決定される。

c 委員会の審議事項等

- ・ファカルティ・ディベロップメント委員会
 - 平成23年度（後学期） [学部] 授業評価アンケート結果集計について
 - 平成23年度（後学期） [大学院] 授業評価アンケート結果集計について
 - ファカルティ・ディベロップメント改善要望事項の進捗状況報告について
 - 平成23年度授業情報交換会及び第2回FD研修会の開催結果について
 - 平成24年度 [学部] ファカルティ・ディベロップメント委員会活動計画（案）について
 - 平成24年度 [大学院] ファカルティ・ディベロップメント委員会活動計画（案）について
 - 平成24年度（前学期） [学部] 授業評価アンケートの実施について
 - 平成24年度（前学期） [大学院] 授業評価アンケートの実施について
 - 平成24年度1年次生アンケートの実施について
 - 平成24年度（前学期） [学部] 「授業改善報告書」の提出依頼について
 - 平成24年度（前学期） [大学院] 「授業改善報告書及び実施結果報告書」の公表に係る抽出依頼について
 - [学部] 授業評価アンケート結果の公表に係る自由記述欄の抽出依頼について
 - [大学院] 授業評価アンケート結果の公表に係る自由記述欄の抽出依頼について
 - 平成24年度（前学期） [学部] 「授業改善報告書」の公表に係る抽出依頼について
 - 平成24年度（前学期） [大学院] 「授業改善報告書及び実施結果報告書」の公表に係る抽出依頼について
 - 平成24年度 [学部] 公開授業の実施計画書の提出依頼について
 - 平成24年度 [大学院] 公開授業の実施計画書の提出依頼について
 - ファカルティ・ディベロップメント委員会外部有識者委員の委嘱について
 - 全国私立大学FD連携フォーラムへの加盟について

- ・ファカルティ・ディベロップメント委員会学部専門部会
平成24年度九州産業大学ファカルティ・ディベロップメント委員会活動計画（案）〔学部〕について
平成25年度授業評価アンケート項目等の見直し〔学部〕について
平成25年度授業評価アンケート項目等の見直し結果（案）〔学部〕について
- ・ファカルティ・ディベロップメント委員会大学院専門部会
平成24年度九州産業大学ファカルティ・ディベロップメント委員会活動計画（案）〔大学院〕について
平成25年度授業評価アンケート項目等の見直し〔大学院〕について
平成25年度授業評価アンケート項目等の見直し結果（案）〔大学院〕について
- ・委員会の主な審議事項としては、授業改善に向けた各種取組を企画、支援してその成果をとりまとめてフィードバックさせる一連の内容である。学生による授業評価アンケートの結果抽出をはじめ、教員相互の授業参観、学内外の講師によるFD講演会・FD研修会などを通して、教員のFD活動への取組を支援するとともに、年度末には工学部・大学院工学研究科のFD活動成果を取りまとめた「授業改善のために」を発行している（昨年度に第9集を発行）。

② 実施状況

a 実施内容

- ・授業評価アンケート（前学期・後学期）年2回
- ・ファカルティ・ディベロップメント研修会（前学期・後学期）年2回
- ・授業情報交換会
- ・学生による授業評価アンケートの結果抽出と授業改善報告書のまとめ
- ・教員相互の授業参観の実施報告書のまとめ
- ・授業評価アンケートの結果の活用
- ・学科独自のFD活動の抽出と活動情報の共有化
- ・平成24年度報告書「授業改善のために（第10集）」の作成

b 実施方法

- ・授業評価アンケート（マークシート自由記述併用）
- ・ファカルティ・ディベロップメント研修会（講義方式、質疑応答含む）
- ・授業情報交換会（講義〔情報提供〕方式、質疑応答含む）
- ・工学部FD委員会において、講演会および研修会を企画、それぞれ1回の開催
- ・授業評価アンケートでの主要な意見をFD委員会で抽出し、授業改善報告書を作成
- ・授業評価が高い授業などを授業参観し、その結果報告をFD委員会でまとめる
- ・各学科で懇談会やアンケートを実施し、学生の意見をまとめて報告
- ・授業評価アンケートの結果を各学科主任に公開、各学科の取組に有効活用
- ・上記結果を、平成25年度報告書「授業改善のために（第11集）」としてまとめる

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ・授業評価アンケート（全専任教員、全非常勤講師対象。全講義対象、但しゼミナール等一部除く。）
- ・ファカルティ・ディベロップメント研修会（第1回75人、第2回約200人、第3回63人）
- ・授業情報交換会（67人）
- ・授業改善報告書の作成
工学部で作成した授業改善報告書の一部を、改善例として本学ホームページにて公開
- ・FD講演会（平成24年12月13日）講師：中尾基（九州工業大学工学研究科）
演題：PBLを基軸とした工学教育プログラム
- ・FD研修会（平成24年5月24日）講師：後藤裕治、清松慶一、田上あすか（NTTデータ九州）
演題：ポートフォリオ活用による教育改善の現状と展開-試行最新機能のご紹介と導入に向けた課題-
- ・教員相互による授業参観の実施
参観総数18件（うち住居・インテリア関連が3件）、参観結果をとりまとめた
- ・学科独自のFD活動の抽出と活動情報の共有化
住居・インテリア設計学科で取り組む活動を以下に抽出して紹介した
※「インテリア・住居・建築」サテライトプロジェクト（学生作品の学外展示や実務家講演会など）による学生の学習意欲増進
※在学生全員を対象にしたクラス担任面談の実施
※建築設計に関する実習科目での20名程度のクラス編成による少人数教育の実施
※「シラバス作成要領」の作成と教員への配付を通じたシラバス改善
- ・平成24年度FD活動報告書「授業改善のために（第10集）」の製本・印刷・配布
上記のFD活動内容を昨年度末にとりまとめ、冊子体として第9集を製本

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ・既設の工学部FD委員会に参画し、これまでの蓄積された実績を踏まえて活動を行っている。ほぼ毎週の開催となる学科会議においてFD活動の全般的事項を協議している。また、学科会議とは別に不定期ではあるが、授業等での問題や改善の必要性が感じられた場合には、学科懇談会（毎月2回程度）を開催し、現段階で可能な対応を検討し改善するように努めている。
- ・従来からの授業評価アンケート結果に加えて、平成24年度は大学基準協会の認証評価結果についてもファカルティ・ディベロップメント委員会で報告するとともに、各教員に授業評価アンケート集計結果を配付し、各々が鋭意改善に取り組んでいる。
- さらに、社会への公表及び学生へのフィードバックのため、ホームページで公表している。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

- ・授業評価アンケート（前学7月・後学期12月）年2回

b 教員や学生への公開状況、方法等

- ・平成19年度よりホームページで公表
- ・各教員に集計結果を配付

(注) ・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

(別紙のとおり)

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

平成23年度自己点検・評価報告書、平成23年度大学基礎データ

- ・平成25年5月公表（予定）

※例年7月に公表しているが、平成23年度自己点検・評価報告書及び大学基礎データは認証評価受審のため平成25年5月に認証評価結果として公表予定。

平成24年度大学基礎データ

- ・平成25年1月冊子を刊行し公表

※ホームページによる公表は、平成24年度自己点検・評価報告書の刊行後、併せて公表予定。

b 公表方法

- ・自己点検・評価報告書及び大学基礎データを刊行し、文部科学省、私立大学協会、大学基準協会などの関係機関及び付属高等学校へ送付している。また、本学及び併設短期大学の各図書館に寄贈。
- 学内では、全教員、役職者、各部所に配布。

- ・大学評価（認証評価）結果報告書、平成23年度自己点検・評価報告書、大学基礎データ

大学ホームページに平成25年5月公表予定

※例年7月に公表しているが、平成23年度自己点検・評価報告書及び大学基礎データは認証評価受審のため平成25年5月に認証評価結果として公表予定。

③ 認証評価を受ける計画

- ・平成24年度に評価機関（大学基準協会）の評価を受審し、適合認定。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無 (有 ・ 無)

b 公表時期 (未公表の場合は予定時期) (平成25年 6月 日)

(3) 自己点検・評価に関する事項

①設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

現段階での評価は難しく、今後とも、設置の趣旨・目的が十分に達成されるように、完成年度に向けてカリキュラムや教育支援に資する各種システムの整備を図っていく。設置申請時からの変更を含め、概略を以下に示す。

教育課程編成

今後とも、学年進行に合わせて履修学生の状況を把握しながら、教育課程の検証を行う。

教員組織

教員組織は設置申請時のとおりである。平成25年4月に講師1名が准教授に昇任し、現在は教授4名、准教授3名、講師1名の専任教員で構成している。

教育方法

初年度の実績から、1年次導入科目である「基礎ゼミナール」では多岐にわたる内容を避けて、前半の数回に学生生活の導入を、その後は「共同作業」をテーマにして、ゼミ単位での授業を基本にしながらも、その成果を全体の中での発表し、グループ相互の交流や理解を深めることもねらった。具体的には、自己紹介も兼ねたメンバーマップ、キャンパス内の建物や環境等を示すキャンパスマップを各ゼミ単位での共同作業によって作成し、全体の前でゼミごとに発表した。また、これらのプロセスのなかでOB、OGによる講演を取り入れた。入学時からの少人数クラス担任制（1教員が7名程度の学生を担当）をベースにした取り組みは、学生間、学生と教員とのコミュニケーションが良好で、学生へも好評で授業評価も高く、この状況は2年次進級後も持続している。この結果を受け、本年度新入生に対しても、テーマは異なるものの同様なスタンスで取り組んでいる。また、学年進行に伴い、各科目での授業内容について教員間での確認を行うなど、効果的な教育内容や方法について検討している。

履修指導

学生への履修指導は、入学時からクラス担任が行っている。入学後の早い時期、各学期の途中で出席状況をもとに履修指導対象者が抽出され、この結果に基づきクラス担任が実施している。初年度より現在に至るまで、履修指導の対象となる学生は年々減少しており、他学科に比べても非常に少ない。今後とも、学生間、学生と教員のコミュニケーションを充実させ、担任クラス（ゼミ）による諸問題への対応を基盤とした取組が必要である。

設備・施設

設計教育の充実と実践的教育を実施するために、昨年度に引き続き、インテリア・CAD 演習室の整備として、ソフトウェア等のアップデートの定期的な実施、新たなソフトウェアの導入を行い利用環境の充実を図っている。講義をはじめ、課外活動での利用も増加しており、多様な学生ニーズに対応した管理・運営体制を構築するように準備を進めている。

入学者選抜

平成 25 年度入試においては、定員 60 名に対して志願者は 229 名、入学者は 72 名であった。入試種別による志願者の内訳では、AO入試 12 名、推薦入試 29 名、一般入試・一般センター併用型入試 145 名、センター試験利用入試 42 名、外国人留学生入試 1 名であった。恒常的な定員確保に向けて、これまでの入試広報活動ならびに入試結果を踏まえ、募集活動や広報活動を進めるべく、入試部、工学部各学科と連携を図り、教員による適切かつ効果的な高校訪問の実施を検討している。

ファカルティ・ディベロップメント (FD)

前述のとおり学部や学科内での活動を継続し、完成年度までの活動内容とその成果をもとに、種々の検証を行う予定である。なお、早急な課題については、逐次、学科会議および学科懇談会にて審議・適切な対応を図るよう取り組んでいる。

九州産業大学ファカルティ・ディベロップメント委員会規程

(目的)

第1条 この規程は、九州産業大学の学部及び大学院の授業内容及び方法の改善を図ることを目的として設置するファカルティ・ディベロップメント委員会（以下「委員会」という。）に関し、必要な事項を定める。

(任務)

第2条 委員会は、次の各号に掲げる事項の推進を図ることを任務とする。

- (1) 授業及び研究指導改善のための基本方針の策定に関する事項
- (2) 研修会及び講習会の開催に関する事項
- (3) 教員の授業及び研究指導の内容・方法についての相互研鑽に関する事項
- (4) 学生による授業及び研究指導の評価に関する事項
- (5) 学生の学力育成と能力向上に関する事項
- (6) 学部間、学科間及び研究科間、専攻間の履修制度の整備及び授業科目の開発・支援に関する事項
- (7) その他、委員会が必要と認めた事項

(構成)

第3条 委員会は、次の各号に掲げる者をもって構成する。

- (1) 学長
- (2) 各学部長
- (3) 各研究科長
- (4) 健康・スポーツ科学センター所長
- (5) 教務部長
- (6) 語学教育研究センター所長
- (7) 基礎教育センター所長
- (8) 教職課程主任
- (9) 事務局長

(委員長及び副委員長)

第4条 委員会に委員長及び副委員長を置く。

- 2 委員長は、学長をもって当て、副委員長は教務部長をもって当てる。
- 3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるときはその職務を代行する。

(会議)

第5条 委員会は、委員長が招集し、その議長となる。

- 2 委員会は、委員の3分の2以上の出席によって成立する。
- 3 委員会の議事は、出席した委員の過半数をもって決定し、可否同数のときは、議長が決定する。
- 4 委員長が必要と認めたときは、委員以外の者を委員会に出席させることができる。

(専門部会)

第6条 委員会の任務を円滑に遂行するために、委員会の下に学部専門部会及び大学院専門部会を置く。

- 2 専門部会の運営に関し必要な事項は、別に定める。

(事務)

第7条 委員会の事務は、大学評価室が行う。

附 則

- 1 この規程は、平成 18 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 九州産業大学ファカルティ・ディベロップメント委員会規程は、廃止する。
- 3 九州産業大学大学院ファカルティ・ディベロップメント委員会規程は、廃止する。

附 則

この規程は、平成 19 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この規程は、平成 21 年 4 月 1 日から施行する。

九州産業大学ファカルティ・ディベロップメント委員会学部専門部会運営要領

(趣旨)

第1条 この要領は、九州産業大学ファカルティ・ディベロップメント委員会規程（以下「規程」という。）第6条第2項の規定に基づき、学部専門部会（以下「専門部会」という。）の運営に関し、必要な事項を定める。

(任務)

第2条 専門部会は、ファカルティ・ディベロップメント委員会委員長の諮問に応じ、規程第2条に関する事項を協議し、委員長に答申することを任務とする。

(構成)

第3条 専門部会は、次の各号に掲げる者をもって構成する。

- (1) 教務部長
- (2) 各学部及び健康・スポーツ科学センターから選出された専任教員各1名
- (3) 教職課程専任教員1名
- (4) 教務部事務部長

(部会長及び副部会長)

第4条 専門部会に部会長及び副部会長各1名を置く。

- 2 部会長は、教務部長をもつて当てる。
- 3 副部会長は、委員の中から部会長が指名する。
- 4 副部会長は、部会長を補佐し、部会長に事故あるときは、その職務を代行する。

(会議)

第5条 専門部会は、部会長が招集し、その議長となる。

- 2 専門部会は、委員の3分の2以上の出席により成立する。
- 3 専門部会の議事は、出席委員の過半数をもって決定し、可否同数のときは、議長が決定する。
- 4 部会長が必要と認めたときは、委員以外の者に出席を求め、意見を聞くことができる。

(事務)

第6条 専門部会の事務は、大学評価室が行う。

附 則

この要領は、平成18年4月1日から施行する。

附 則

この要領は、平成19年4月1日から施行する。